OMRON

# SNMP/Web カード　SC20G

# 取扱説明書

## インストール編

- 本書は SNMP/Web カードを安全にご使用いただく上で必要な情報を記載しています。
  設置やご使用の前に必ずお読みください。
- 本書は、必要なときにいつでも参照できるよう、お手元に大切に保管くださるようお願いいたします。
- 本書の著作権はオムロン株式会社に帰属します。当社に無断で、内容を部分的あるいは全体的に複写、複製、転載、することは固くお断りします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 一部画像については、最新のものと異なる場合があります。
- Windows, Windows NT その他の名称は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他の各会社名、各社製品名は各社の商標または登録商標です。

©OMRON Corporation. 2009 All Rights Reserved.

# はじめに

このたびはオムロン SNMP/Web カードをお買い上げいただき、ありがとうございます。

## ■ 対応型式

- 本製品は、オムロン製無停電電源装置 (UPS) のスロットに挿入することによりネットワーク接続を可能にする装置です。

## ■ 機能特長

- 本製品を無停電電源装置 (UPS) に挿入することにより、無停電電源装置 (UPS) からのステータス取得および無停電電源装置 (UPS) へのコマンド発行を可能にします。
- 本製品を無停電電源装置 (UPS) に挿入することにより、シリアルポートを搭載しないパソコンからでも無停電電源装置 (UPS) を管理できます。

## ■ 自動シャットダウンソフトのご提供

本製品には、自動シャットダウンソフトが同梱されています。(最新の情報は当社ホームページをご覧ください。)

- 設定により以下の場合、シャットダウンを行なうことが可能です。
  - 主電源系統がダウンした場合
  - 無停電電源装置 (UPS) のバッテリが低下した場合
  - 無停電電源装置 (UPS) の接続容量がオーバした場合
  - 無停電電源装置 (UPS) の温度が上昇した場合
- 自動シャットダウンソフト、スクリプトシャットダウンによって、スケジュール運転を行なうことができます。
- 自動シャットダウンソフト、スクリプトシャットダウンによって、コンピュータを安全に停止できます。

## ■ 自動シャットダウンソフトのライセンスに関して

- 本製品は、ネットワーク経由でシャットダウンを行なう複数台のコンピュータにインストールしてご使用いただけます。

### 本製品の輸出について

本製品を海外に持ち出される (輸出) 場合は、当社カスタマサポートセンタ (TEL: 0120-77-4717) にお問い合わせください。また、該非判定資料の発行をご希望の際は、当社ホームページまでお申し込みください。
(URL http://www.omron.co.jp/ped-j/ )
お問い合わせの際、本製品の製造番号が必要です。製造番号 (S/N) は、梱包箱側面または本体基盤裏面に貼付のシールに記載しております。

# 目 次


**はじめに** ..... i

**安全上のご注意** ..... 1

**1. お使いになるまえに** ..... 3

1.1 **同梱物を確認** ..... 3
1.2 **本体各部の名称** ..... 5
1.3 **ブラケットの交換** ..... 5
1.4 **機能概要** ..... 7
1.5 **システム構成** ..... 9
1.6 **シャットダウンプロセスについて** ..... 10

**2. SNMP/Web カードの挿入** ..... 11

**3. SNMP/Web カードのネットワーク設定** ..... 13

3.1 IP **アドレス設定の基本情報** ..... 13
3.2 **ネットワーク設定の方法** 1：**シリアルポート経由** ..... 14
3.3 **ネットワーク設定の方法** 2：Telnet **経由** ..... 18
3.4 **シリアルポート**/Telnet **経由での設定内容** ..... 22
3.5 **ネットワーク設定の方法** 3：Web **ブラウザ経由** ..... 26

**4. 自動シャットダウンソフトのインストール** ..... 28

4.1 PowerAct Pro Ver. 4.x **スレーブエージェントのインストール** ..... 28
4.1.1 Windows 7/Vista/XP/2000/Server 2008/Server 2003 **上にインストール** ..... 28
4.1.2 Linux **上にインストール** ..... 31
4.1.3 Mac **上にインストール** ..... 36
4.1.4 Unix **上にインストール** ..... 38
4.1.5 VMware **上にインストール** ..... 43
4.2 **シャットダウンエージェントのインストール** ..... 48
4.2.1 Windows Server2003/NT4.0/2000/XP **上にインストール** ..... 48
4.2.2 Linux **上にインストール** ..... 51
4.2.3 Mac OS X/X Server **上にインストール** ..... 55
4.3 **自動シャットダウンソフトと** SC20G **の通信確認方法** ..... 59

# 安全上のご注意

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠ 注 意 | 誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損傷の発生が想定される内容を示します。 |

※物的損傷とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

： 禁止（してはいけないこと）を示します。例えば は分解禁止を意味しています。

： 強制（必ずしなければならないこと）を示します。例えば はアースの接続が必要であることを意味しています。

## ⚠ 注 意

本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ず無停電電源装置（UPS）本体と接続機器の電源を切り、「AC 入力」プラグを電源コンセントから抜いてからおこなうこと。

- 感電の恐れがあります。

本製品の分解、改造、修理を自分でおこなわないこと。

- 感電したり、火災を起こす危険があります。

無停電電源装置（UPS）に本製品の取り付け、取りはずしをおこなうときは、無停電電源装置（UPS）を安定した場所に置き、転倒しない向きで設置を行なうこと。

- 転倒や落下によりけがをすることがあります。

本製品を取り付ける無停電電源装置（UPS）には、確実にアース接続（接地）を行なうこと。

- 無停電電源装置（UPS）のアース端子をアースに接続してください。アースを接続せずに他の機器と無停電電源装置（UPS）に同時に触れると感電することがあります。

| | |
|---|---|
| | 本製品の取り付け、取りはずしのときは、基板端面、基板上の部品に触れないこと。<br>• 基板端面や部品は鋭利なため、触れるとけがをすることがあります。<br>• 部品が高温になっていると火傷をする恐れがあります。<br>• 本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。特にコネクタの接点ポートその他の部品に素手で触れないでください。 |
| | 内部基板上に液体があっても、液体にさわらないこと。<br>• このような状態になったら絶対に使用せず、お買い求めの販売店あるいは当社に点検･修理を依頼してください。修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。<br>• 失明したり火傷をする恐れがあります。<br>• 目や皮膚に付着したら、すぐに大量の清潔な水で洗い流し、医師の診察を受けてください。 |
| | 本製品から煙、異臭、異常音が発生した場合は接続の無停電電源装置 (UPS) の「電源」スイッチを切り、「AC 入力」プラグを電源コンセントから抜くこと。<br>• このような状態になったら絶対に使用せず、お買い求めの販売店あるいは当社に点検･修理を依頼してください。 |
| | 本説明書に記載されている使用条件･環境および使用する無停電電源装置 (UPS) の使用条件･環境を守ること。 |
| | 電池を取りはずして乳幼児の手の届くところに置かないこと。<br>• 乳幼児が飲み込む危険があります。 |
| | 電池を他の用途に使用しないこと。<br>火中に投入や、分解､加熱などしないこと。<br>• 破裂･火災を起こす危険があります。 |
| | 電池の＋と－を針金などでショートしないこと。<br>• 発熱･火災を起こす危険があります。 |
| | 濡らしたり、水をかけたりしないこと<br>• 感電したり,、火災を起こすことがあります。<br>• 水に濡らした場合はすぐに本製品の使用を中止し、点検･修理を依頼してください。 |
| | 直射日光の強いところや、高温になるところに放置しないこと。<br>• 電池が高温になり、破裂･火災を起こす危険があります。 |

## 免責事項について

当社製品の使用に起因する事故であっても、装置･接続機器･ソフトウェアの異常、故障に対する損害、その他二次的な損害を含むすべての損害の保証には応じかねます。

## 廃棄にあたってのお願い

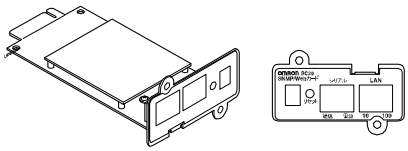
廃棄方法は、地方自治体の条例等や指導に従って正しく処理してください。

# 1. お使いになるまえに

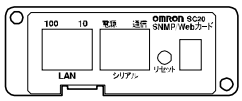
## 1.1 同梱物を確認

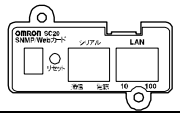
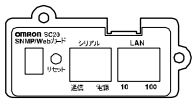
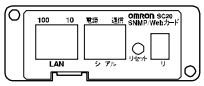
**本製品の外観に損傷はないか、以下の梱包品がすべてそろっているか確認してください。**
**＊万一、梱包品に不具合、不足があった場合は、お買い上げの販売店、またはオムロン電子機器カスタマサポートセンタへお問い合わせください。**

1. SNMP/Web **カード本体** 1 **個**
   (BU-SW **シリーズ**、BU-RW **シリーズ**、BN-S **シリーズブラケット付き**)



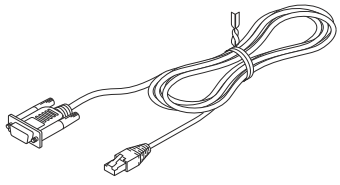
2. **交換用ブラケット** 2 **種(各** 1 **個)**



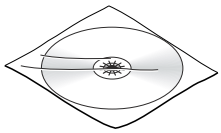
| **ブラケット** |  |  |  |
|---|---|---|---|
| **対応型式** | BU50SW/BU75SW /BU100SW /BU150SW,<br>BU1002SW /BU3002SW,<br>BU75RW/BU100RW/ BU200RW/BU300RW<br>BN50S/BN75S /BN100S<br>/BN150S/BN220S /BN300S | BN50XS/BN75XS/B N100XS/ BN140XS,<br>BN100XR /BN150XR /BN240XR | BU100XR2 /BU200XR2 |

**最新情報は当社ホームページをご覧ください。**
(http://www.omron.co.jp/ped-j/ )

3. **シリアル接続ケーブル** 1 **本**



4. CD-ROM 1 **枚**
**(取扱説明書、自動シャットダウンソフト他)**

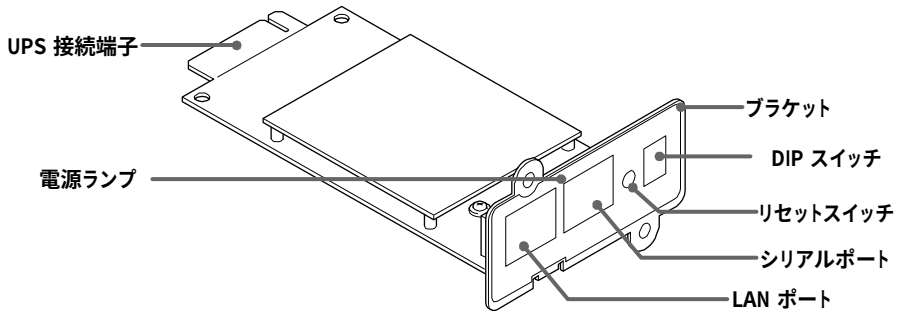


5. **インストールガイド** 1 **冊**

6. **保証書** 1 **枚**

## 1.2 本体各部の名称

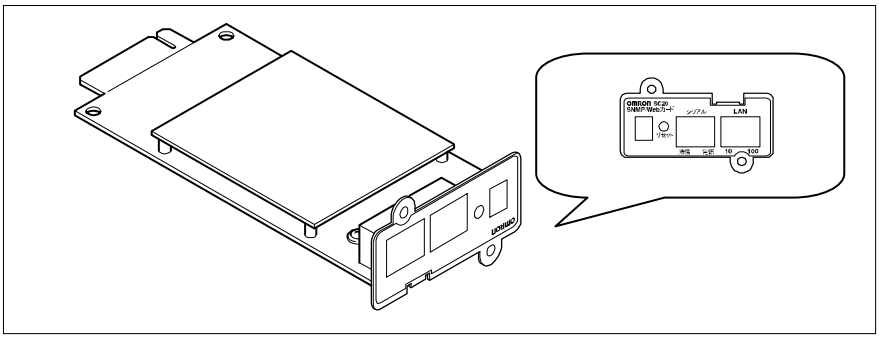
SNMP/Web カードの各部の名称は以下のとおりです。




## 1.3 ブラケットの交換

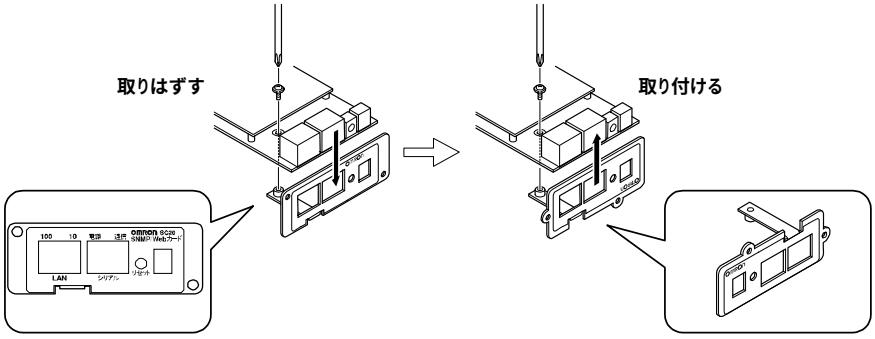
**無停電電源装置**(UPS)**型式によりスロットのネジ穴位置が異なります。**
**必要によりブラケットの交換を行なってください。**

- BU50SW/BU75SW/BU100SW/BU150SW/BU1002SW/BU3002SW/BU100RW/ BU200RW/BU300RW/BN50S/BN75S/BN100S/BN150S/BN220S/BN300S **に設置する場合は、交換不要です。**



**最新情報は当社ホームページをご覧ください。**
( http://www.omron.co.jp/ped-j/ )

- **無停電電源装置(UPS)が、上記以外の型式の場合、3頁「交換ブラケット形状一覧表」をご参照の上、該当のブラケットに交換してください。**




BU100XR2/BU200XR2用ブラケット

BN50XS/BN75XS/BN100XS/BN140XS、
BN100XR/BN150XR/BN240XR用ブラケットの場合

## 1.4 機能概要

### ■無停電電源装置 (UPS) とネットワークの直接接続

- 本製品を無停電電源装置 (UPS) に挿入することにより、シリアルポートを搭載しないパソコンからでも無停電電源装置 (UPS) を管理できます。
- 本製品を無停電電源装置 (UPS) に挿入することにより、市販の SNMP マネージャソフトおよび Web ブラウザから無停電電源装置 (UPS) を管理できます。

### ■ネットワーク上で無停電電源装置 (UPS) の遠隔モニタ

- インターネットおよびイントラネット上のすべてのワークステーションから、無停電電源装置 (UPS) を遠隔モニタできます。

### ■ネットワーク上のコンピュータから、無停電電源装置 (UPS) および SNMP/Web カードの機能設定が可能

- 無停電電源装置 (UPS) および SNMP/Web カードのパラメータ設定は、SNMP 管理ステーションのいずれか、あるいはインターネットブラウザ経由で行なうことができます。(SNMP エージェントとしての機能は Telnet およびシリアル接続で設定可能です。)
- 無停電電源装置 (UPS) の機能の内容 (出力コンセント制御機能の有無など) に応じてパラメータ設定画面の表示内容が自動的に変更され、必要な設定項目だけが表示されます。

### ■セキュリティ機能を強化

- HTTP、SNMPv1 以外に、HTTPS、SNMPv3 にも対応しています。
  (注意)HTTPS でのアクセスは、Open SSL ver.2.0 でアクセスできます。
  一部のブラウザソフト(Firefox など)では HTTPS でのアクセスはできません。

### ■メール通知機能

- 電源異常等の発生時にあらかじめ指定したアドレス宛に通知メールを送信できます。

### ■ログ機能

- 無停電電源装置 (UPS) の電源異常、電源の状態、バッテリ状態などを製品内のフラッシュメモリに保存できます。
- Syslog に対応しています。

### ■自動シャットダウン機能

- 同梱された自動シャットダウンソフトをインストールすることにより、管理者があらかじめプログラムした所定のシャットダウンあるいは重大な電源異常が発生した場合のシャットダウンが自動的に実行されます。

### ■Wake ON LAN 対応機能

- Wake ON LAN 機能を装備しているクライアント PC の MAC アドレスを最大 32 台まで登録しておくことにより、無停電電源装置 (UPS) からの信号によるシャットダウン後、無停電電源装置 (UPS) 再起動時に Wake ON LAN 信号によってすべてのクライアント PC を一度に再起動させることができます。

### ■無停電電源装置 (UPS) の標準 MIB (RFC1628)および独自 MIB (swc mib)を装備

### ■JAVA アプレットを使用し、電源の状態をモニタ

- グラフ表示によって、電源の状態をビジュアルに確認できます。

## ■スクリプトシャットダウン

- 自動シャットダウンソフトを使用せず、スクリプトを組み込むことで、ネットワーク経由でコンピュータをシャットダウンできます。

## ■死活監視

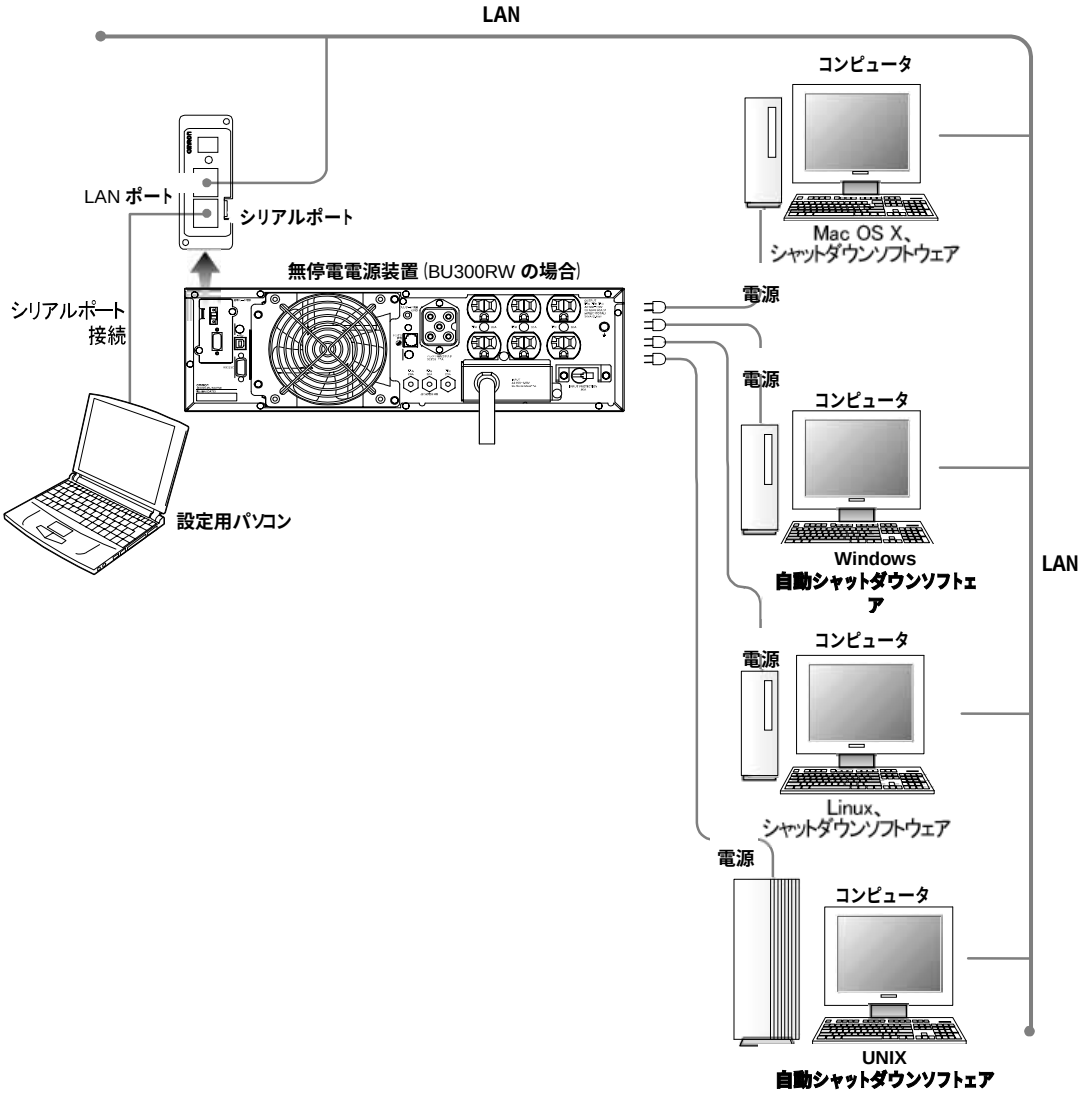
- 無停電電源装置(UPS)に接続されている機器をネットワーク経由で監視し、異常時はUPS の出力を停止/開始できます。

## ■CO2 設定

- 無停電電源装置(UPS)に接続されている機器（全体）の二酸化炭素排出量を算出した結果を表示します。

# 1.5 システム構成

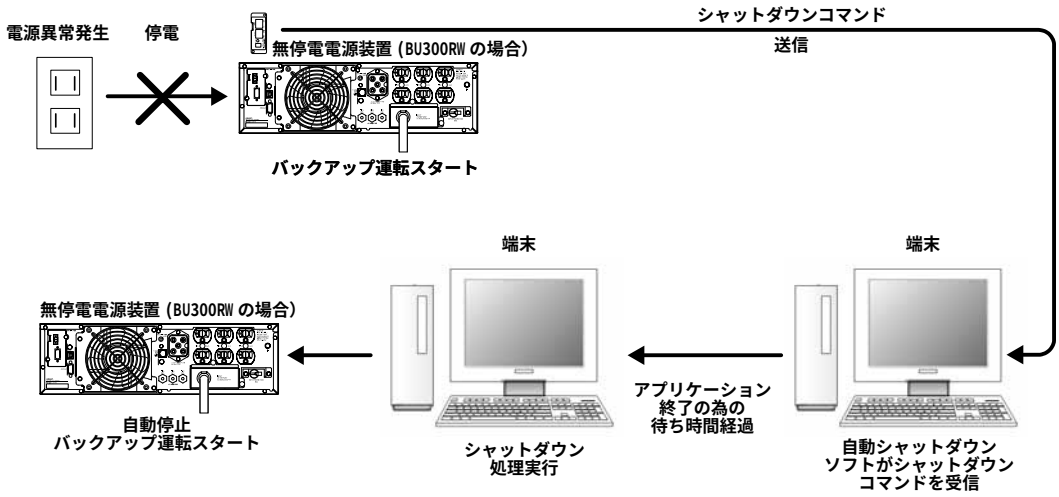
- 各種 OS の混在したネットワーク上の複数のコンピュータをバックアップし、電源障害時はシャットダウンを行なうことが可能です。
- システム構成例



## 1.6 シャットダウンプロセスについて

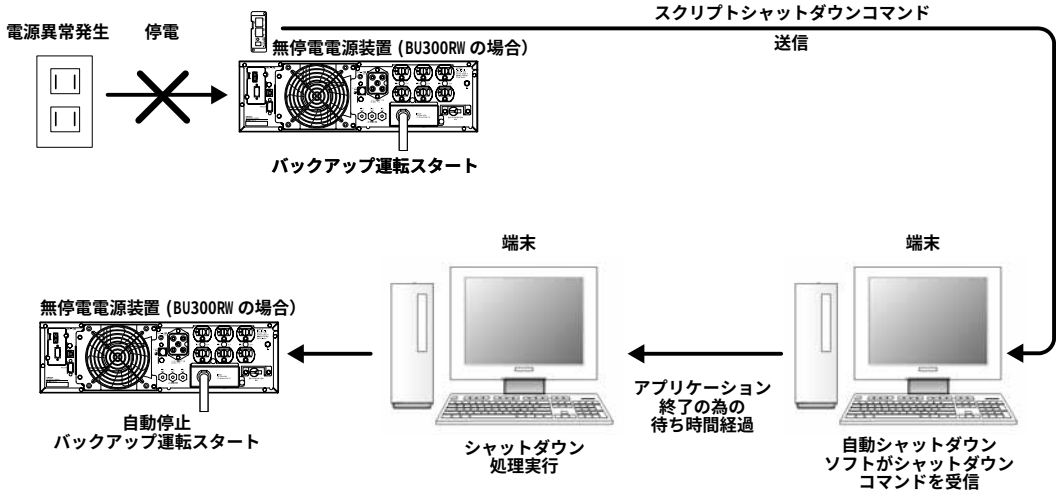
### ■自動シャットダウンを使用した時

- 電源異常などが発生した場合、自動シャットダウンソフトの機能を使用してシャットダウンプロセスを実行します。この処理により、コンピュータを安全に停止することができます。




### ■スクリプトシャットダウンを使用した時

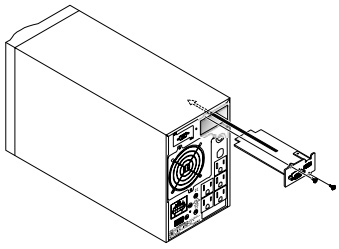
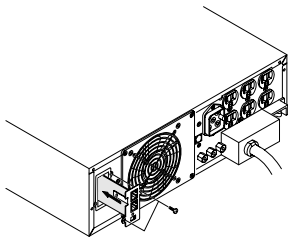
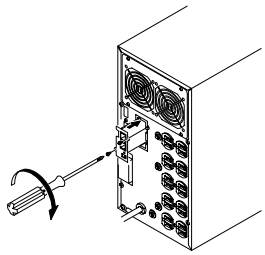
- 電源異常などが発生した場合、スクリプトシャットダウンの機能を使用してシャットダウンプロセスを実行します。この処理により、コンピュータを安全に停止することができます。




※全ての機器をスクリプトでシャットダウン可能ではありません。
本機能を使用する時は必ず事前動作確認を行ってください。

# 2. SNMP/Web カードの挿入

## ■挿入手順

| | |
|---|---|
| **1** | 無停電電源装置 (UPS) の「電源」スイッチが OFF になっていること、「AC 入力」ケーブルがコンセントや端子盤から外れ、電力が切れている状態であることを確認してください。 |
| **2** | 本製品の背面にある 2 つの DIP スイッチがいずれも OFF になっていることを確認してください。 |
| **3** | 無停電電源装置 (UPS) のスロットカバーまたは接点信号入出力カードを取りはずしてください。 |
| **4** | 無停電電源装置 (UPS) のスロットに、本製品をしっかりと差し込み、ネジ留めしてください。(スロットの位置、挿入時の向きは無停電電源装置 (UPS) の型式により異なります。詳細は無停電電源装置 (UPS) 取扱説明書をご参照ください。)<br>  <br>BU150SW のスロットに挿入<br>  <br>BU200RW/BU300RW のスロットに挿入<br>  <br>BN220S/BN300S のスロットに挿入 |
| **5** | 無停電電源装置 (UPS) を電源コンセントにつなぎ「電源」スイッチを ON にしてください。 |

## 注 意 (取付、取外し時)

本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ず無停電電源装置 (UPS) 本体と接続機器の「電源」スイッチを切り、「AC 入力」プラグを電源コンセントから抜いてからおこなうこと。

- 感電の恐れがあります。

無停電電源装置 (UPS) に本製品の取り付け、取りはずしをおこなうときは、無停電電源装置 (UPS) を安定した場所に置き、転倒しない向きで設置を行なうこと。

- 転倒や落下によりけがをすることがあります。

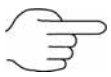
本製品の取り付け、取りはずしのときは、基板端面、基板上の部品に触れないこと。

- 基板端面や部品は鋭利なため、触れるとけがをすることがあります。
- 部品が高温になっていると火傷をする恐れがあります。
- 本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。特にコネクタの接点ポートその他の部品に素手で触れないでください。

# 3. SNMP/Web カードのネットワーク設定

## 3.1 IP アドレス設定の基本情報

**本製品を目的のネットワーク上で使用するための設定を行ないます。本製品の初期値の固定** IP **アドレスは「**192.168.2.150**」に設定しています。**
**固定** IP **アドレスの変更は、「方法** 1:**シリアルポート経由」または「方法** 2:Telnet **経由」の、**
［SMNP-Web-Card Configuration Utility Main menu］**から行なってください。**
**一度ネットワーク関連の設定を行なった後は** Web **ブラウザを通じての設定が便利です。**

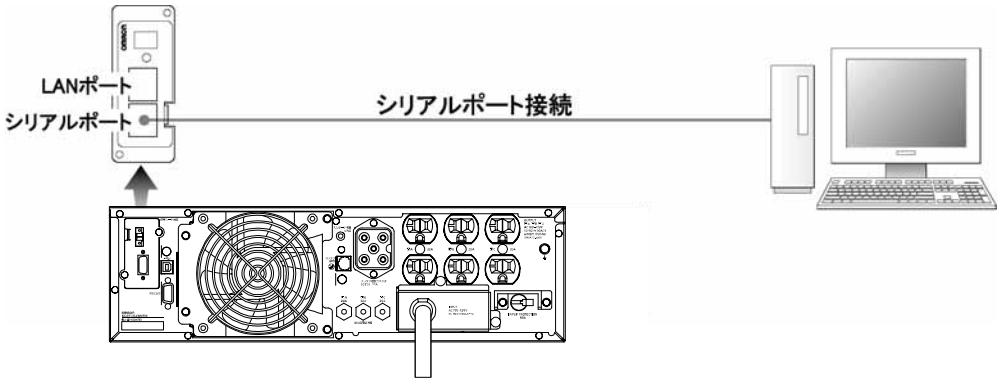


**「**3.2 **ネットワーク設定の方法** 1 : **シリアルポート経由」あるいは「**3.3 **ネットワーク設定の方法** 2 : Telnet **経由」を参照してください。**

**本書では** Windows2000 **を例に説明します。その他の** OS **を使用する場合は、以下の内容を参考に設定を行なってください。**

## 3.2 ネットワーク設定の方法 1：シリアルポート経由

### ■設定手順

| | |
|---|---|
| **1** | 設定用コンピュータの電源スイッチを ON にしてください。 |
| **2** | シリアル接続ケーブルを使用して、無停電電源装置 (UPS) に取り付けた本製品と設定用コンピュータを接続してください。<br>  |
| **3** | [スタート]をクリックして、[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]を選択して、ハイパーターミナルを起動してください。※1 |
| **4** | 次の画面が表示されるので、適当な名称を入力してください。<br>入力後、[OK]をクリックしてください。<br>ここでは、例として「SNMP_Web カード」と入力されています。<br> |

※1 ご使用されるOSにより、ターミナルソフトが搭載されていない場合があります。
その場合、別途ご用意の上、設定してください。

**5**

**シリアル接続ケーブルをつないだ COM ポート名を選択した後、[OK]をクリックしてください。**

**6**

**設定した COM ポートのプロパティを設定するための画面が表示されますので、以下のように設定してください。**

**次に[OK]をクリックしてください。**

| | |
|---|---|
| **ビット/秒** | 9600 |
| **データビット** | 8 |
| **パリティ** | **なし** |
| **ストップビット** | 1 |
| **フロー制御** | **なし** |

**7**

**ハイパーターミナルの画面が表示されます。**

**8**

Enter **キーを押してください。**

**9**

**次に以下のパスワード入力画面が表示されます。**

**ここで、「**admin↵**」と入力してください。**

```
+=============================================================================+
|                    [SNMP-Web-Card Configuration Utility Main menu ]         |
|                                                                             |
+=============================================================================+

Enter Password:   admin
```

**10**

[SNMP-Web-Card Configuration Utility Main menu]**の項目が表示されます。**

**「**1**」を入力して**↵**を押すと、**[SNMP-Web-Card Configuration Menu]**が表示されます。**

```
+=============================================================================+
|             [ SNMP-Web-Card Configuration Utility Main menu ]               |
+=============================================================================+
   1. SNMP-Web-Card Configuration
   2. UPS Parameters
   3. Access Control Table
   4. Trap Receiver Table
   5. Reset Configuration To Default
   6. Restart Agent
   0. Exit

Please Enter Your Choice => 1

+=============================================================================+
|                    [ SNMP-Web-Card Configuration Menu ]                     |
+=============================================================================+
   1. System Group
   2. Control Group
   3. Parameter Group
   4. Email Group
   0. Return to previous menu

Please Enter Your Choice =>
```

**11** さらに「1」を入力して↵を押してください。

```
+=============================================================================+
|                    [ SNMP-Web-Card Configuration Menu ]                     |
+=============================================================================+
   1. System Group
   2. Control Group
   3. Parameter Group
   4. Email Group
   0. Return to previous menu

Please Enter Your Choice => 1
```

**12** [System Group Configuration Menu]が表示され、SNMP/Web カードのネットワークに関する現在の設定値が一覧表示されます。

```
+=============================================================================+
|                    [ System Group Configuration Menu ]                      |
+=============================================================================+
       SNMP Agent Version   : 2.00 (Release Date: 2008-11-07)
       Ethernet address     : 00 E0 D8 11 29 90
   1.  Ip Address           : 192.168.2.150
   2.  Gateway Address      : 192.168.2.1
   3.  Network Mask         : 255.255.255.0
   4.  Date and Time
   0.  Return to previous menu

Please Enter Your Choice =>
```

変更したい項目の番号を入力後、↵を押してください。

次に設定値を入力し入力が完了した後、↵を押してください。

**13** 画面表示に従って操作し、設定メニューを終了してください。

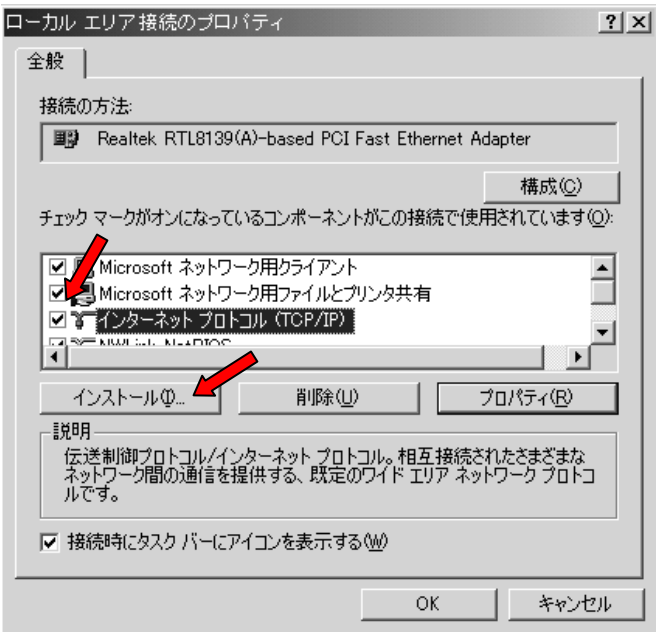
**14** メニューバーの[ファイル]を選択し、[ハイパーターミナルの終了]を選択してください。[切断しますか？] と表示されたら [はい] をクリックし、 [セッション***を保存しますか？] と表示されたら[いいえ]をクリックしてください。

以上の操作により、ハイパーターミナルが終了します。

## 3.3 ネットワーク設定の方法 2：Telnet 経由

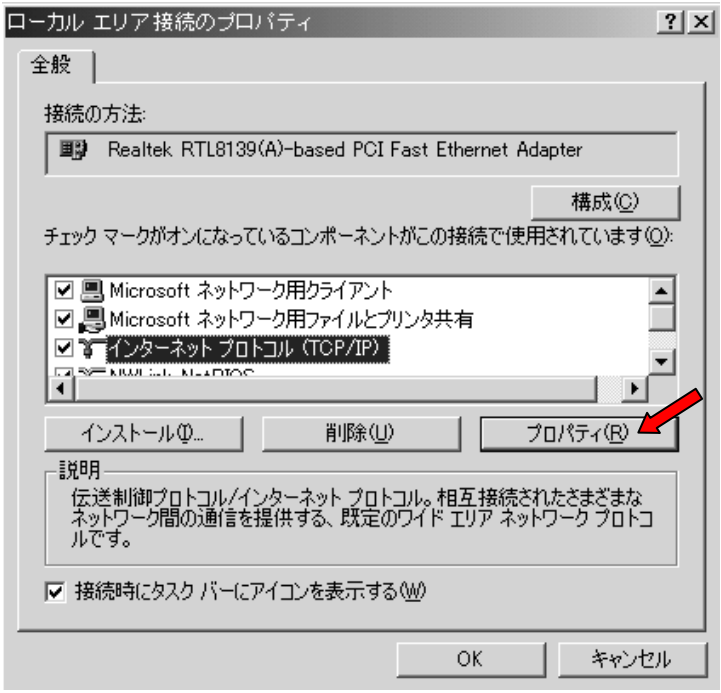
**以下の通り設定用コンピュータで TCP/IP 設定を行なった後に、本製品の設定を行なってください。**

### ■TCP/IP の設定手順

| | |
|---|---|
| **1** | [スタート]をクリックした後、[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]をダブルクリックしてください。 |
| **2** | 次に[ローカルエリア接続]を右クリックして、[プロパティ]を選択してください。<br><br>INFORMATION<br>[ローカルエリア接続]がない場合は、LAN カード(アダプタ)がインストールされていません。LAN カード(アダプタ)をインストールしてから、この操作を行なってください。 |
| **3** | コンポーネントの一覧で[インターネットプロトコル(TCP/IP)]がチェックされていることを確認してください。<br><br>INFORMATION<br>• [インターネットプロトコル(TCP/IP)]がチェックされていない場合は、チェックしてください。<br>• [インターネットプロトコル(TCP/IP)]が表示されていない場合は、[インストール]をクリックして TCP/IP をインストールしてください。<br><br>  |

**4**

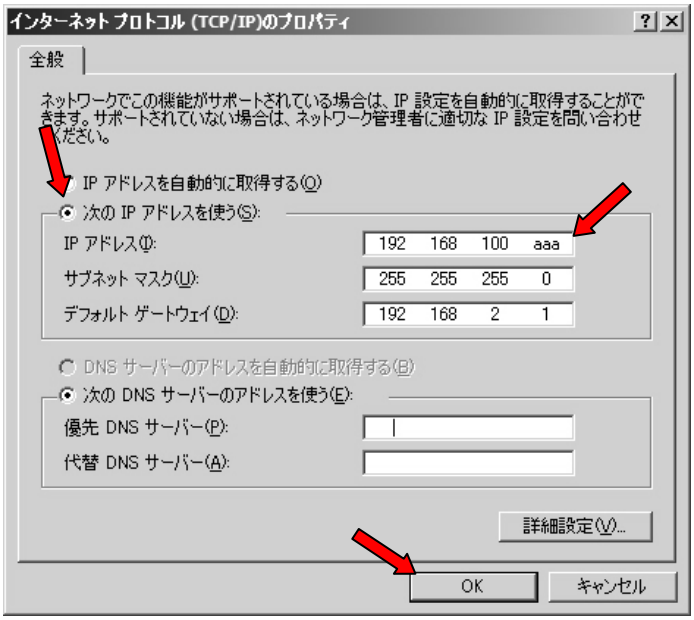
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択した後、[プロパティ]をクリックしてください。




**5**

[次の IP アドレスを使う] をチェックしてください。IP アドレス欄、サブネットマスク欄、デフォルトゲートウェイ欄を以下の通りに設定して[OK]をクリックください。

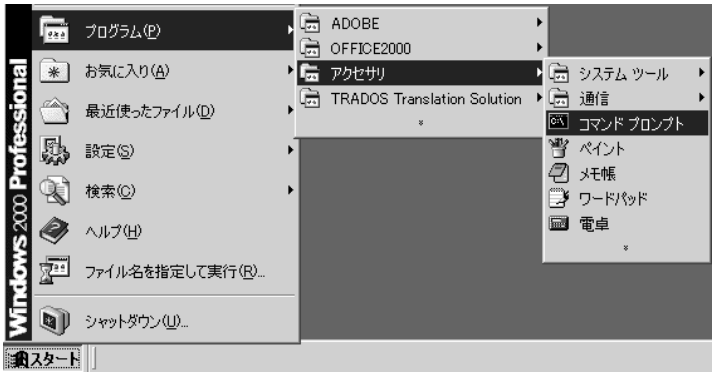
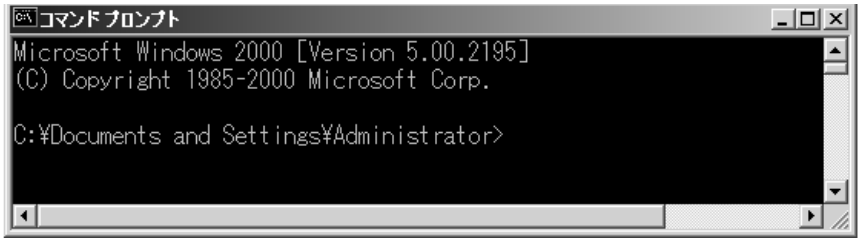
IP アドレス：192.168.2.aaa
サブネットマスク：255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ:192.168.2.1
aaa、bbb は 1～254 の任意の値を入力してください。

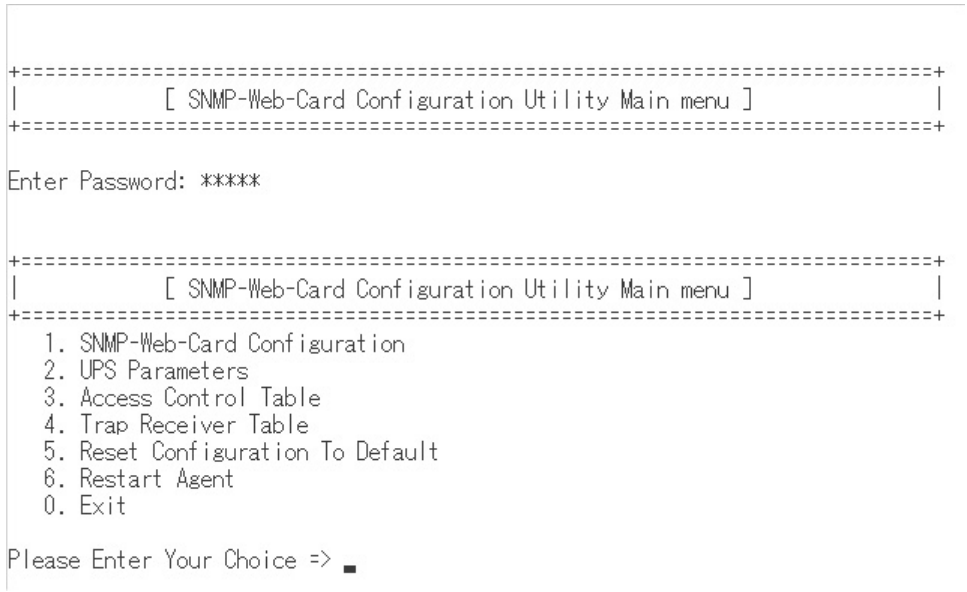



**6**

設定後、OK をクリックして初期画面に戻ってください。

## ■本製品の設定手順

| | |
|---|---|
| **1** | **無停電電源装置** (UPS) **に挿入された** SNMP/Web **カードをネットワークに接続してください。** |
| **2** | **コンピュータ上で以下の手順で、**Windows **コマンドプロンプトを実行してください。**<br>**[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]**<br>  |
| **3** | **以下のようなコマンドプロンプト画面が表示されます。**<br>  |
| **4** | SNMP/Web **カードの固有の** IP **アドレス(初期値**:192.168.2.150)**を入力してください。コマンドプロンプトで以下の通り入力してください。**<br>**入力例**)<br>Telnet␣192.168.2.150↵<br>※SNMP/Web **カードの** IP **アドレスを変更されている場合は、その** IP **アドレスを入力してください。**<br> |
| **5** | **次に、パスワード入力画面で「**admin↵**」と入力してください。** |

| | |
|---|---|
| **6** | **以降の設定手順は、「シリアルポート経由」の場合と同様です。以下の画面から設定を行なってください。**<br>  <br> |
| **7** | **設定用コンピュータのネットワーク設定は必要に応じて元に戻してください。** |

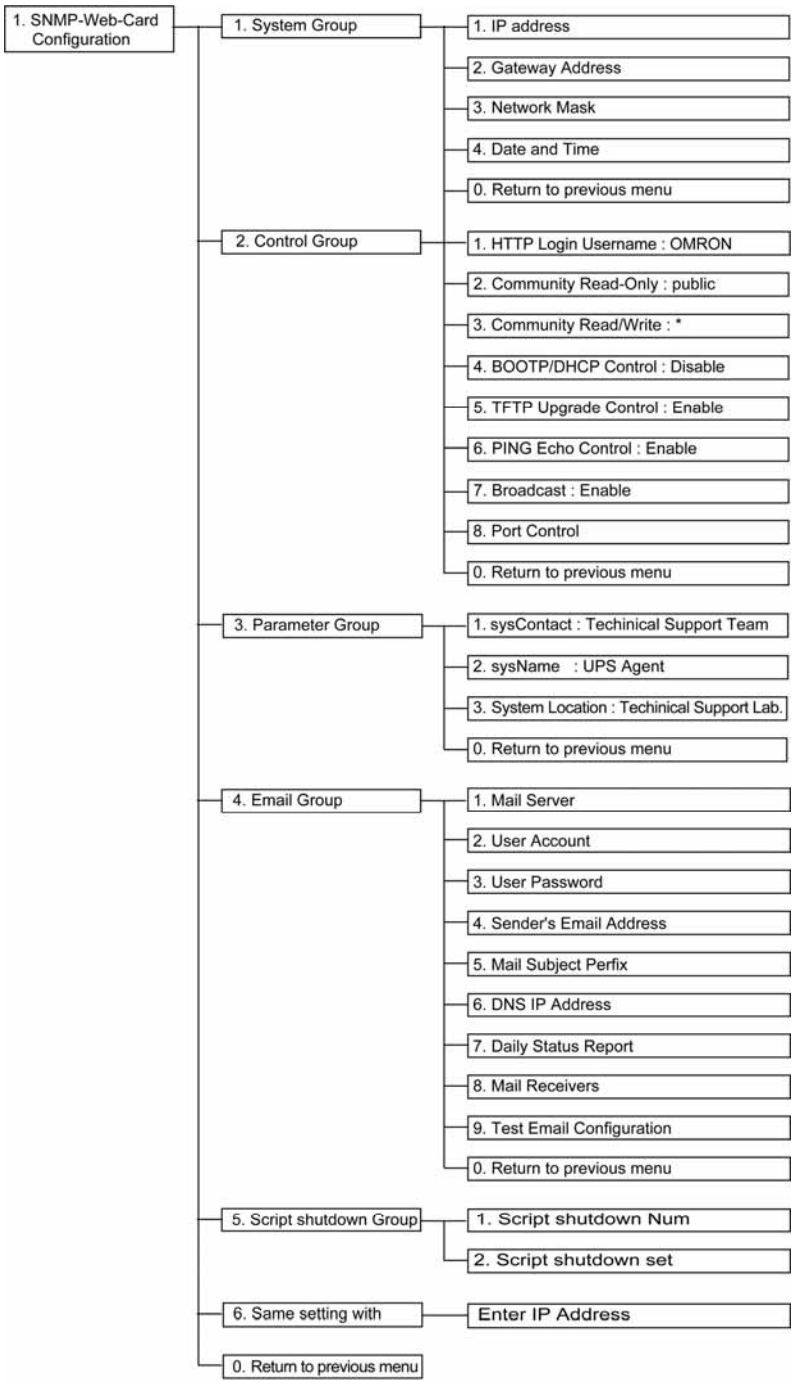
## 3.4 シリアルポート/Telnet 経由での設定内容

### ■シリアルポート／Telnet 経由で設定を行なう場合

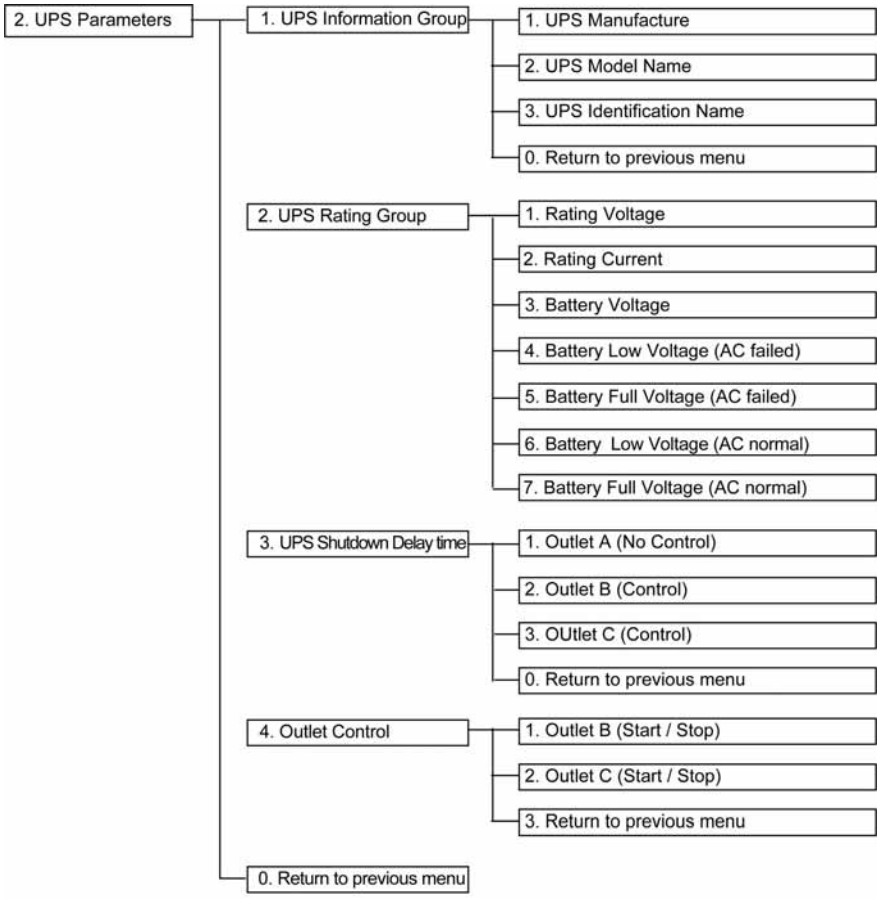
以下の[SNMP-Web-Card Configuration Utility Main menu]を使用します。
シャットダウン関連の機能を除き、ほとんどの機能をシリアルポート経由で設定することが可能です。設定を行なう場合は必ずシリアル接続または Telnet で行なう必要があります。
(※Telnet 経由接続での設定推奨)

### ■[SNMP-Web-Card Configuration Utillity Main menu]の設定内容

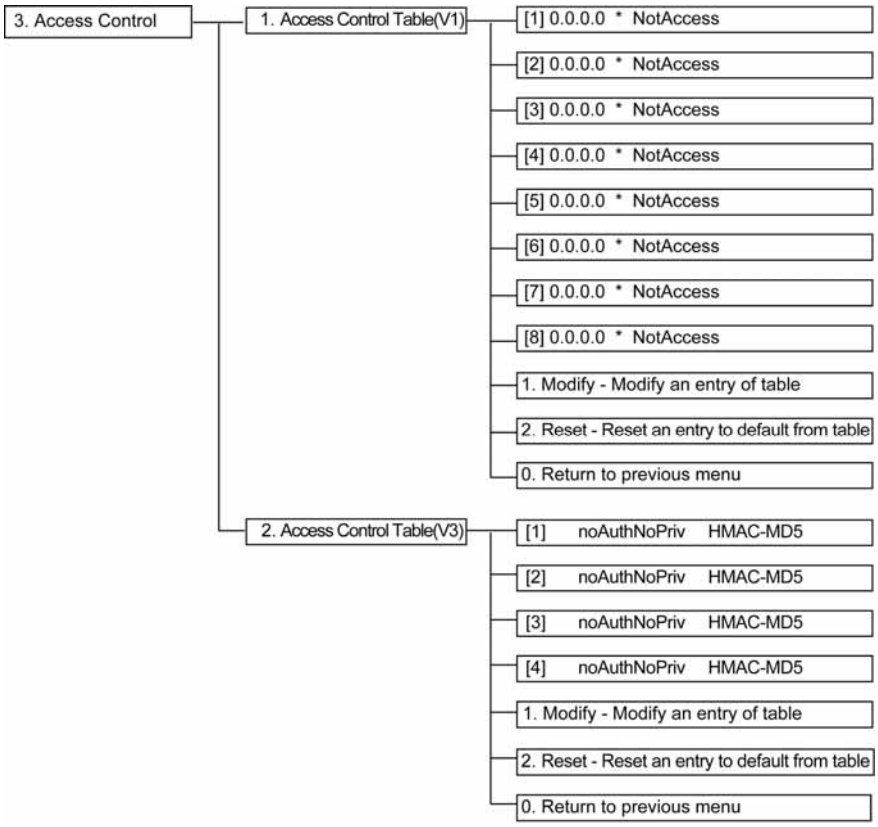
- 1. SNMP-Web-Card Configuration


1. SNMP-Web-Card Configuration
1. System Group
1. IP address
2. Gateway Address
3. Network Mask
4. Date and Time
0. Return to previous menu
2. Control Group
1. HTTP Login Username : OMRON
2. Community Read-Only : public
3. Community Read/Write : *
4. BOOTP/DHCP Control : Disable
5. TFTP Upgrade Control : Enable
6. PING Echo Control : Enable
7. Broadcast : Enable
8. Port Control
0. Return to previous menu
3. Parameter Group
1. sysContact : Techinical Support Team
2. sysName : UPS Agent
3. System Location : Techinical Support Lab.
0. Return to previous menu
4. Email Group
1. Mail Server
2. User Account
3. User Password
4. Sender's Email Address
5. Mail Subject Perfix
6. DNS IP Address
7. Daily Status Report
8. Mail Receivers
9. Test Email Configuration
0. Return to previous menu
5. Script shutdown Group
1. Script shutdown Num
2. Script shutdown set
6. Same setting with
Enter IP Address
0. Return to previous menu

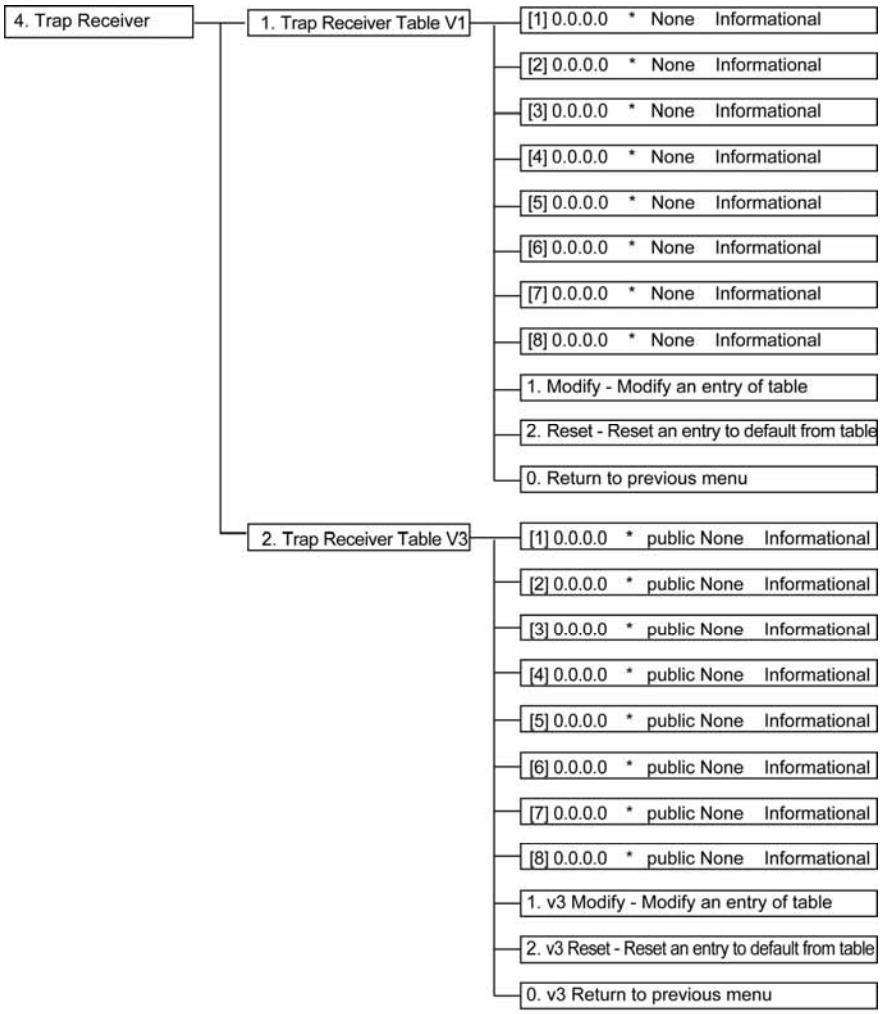
- 2. **無停電電源裝置** (UPS) Parameters


2. UPS Parameters
1. UPS Information Group
1. UPS Manufacture
2. UPS Model Name
3. UPS Identification Name
0. Return to previous menu
2. UPS Rating Group
1. Rating Voltage
2. Rating Current
3. Battery Voltage
4. Battery Low Voltage (AC failed)
5. Battery Full Voltage (AC failed)
6. Battery Low Voltage (AC normal)
7. Battery Full Voltage (AC normal)
3. UPS Shutdown Delay time
1. Outlet A (No Control)
2. Outlet B (Control)
3. OUtlet C (Control)
0. Return to previous menu
4. Outlet Control
1. Outlet B (Start / Stop)
2. Outlet C (Start / Stop)
3. Return to previous menu
0. Return to previous menu

- 3.Access Control Table


3. Access Control
1. Access Control Table(V1)
[1] 0.0.0.0 * NotAccess
[2] 0.0.0.0 * NotAccess
[3] 0.0.0.0 * NotAccess
[4] 0.0.0.0 * NotAccess
[5] 0.0.0.0 * NotAccess
[6] 0.0.0.0 * NotAccess
[7] 0.0.0.0 * NotAccess
[8] 0.0.0.0 * NotAccess
1. Modify - Modify an entry of table
2. Reset - Reset an entry to default from table
0. Return to previous menu
2. Access Control Table(V3)
[1] noAuthNoPriv HMAC-MD5
[2] noAuthNoPriv HMAC-MD5
[3] noAuthNoPriv HMAC-MD5
[4] noAuthNoPriv HMAC-MD5
1. Modify - Modify an entry of table
2. Reset - Reset an entry to default from table
0. Return to previous menu

- 4. Trap Receiver Table


4. Trap Receiver
1. Trap Receiver Table V1
[1] 0.0.0.0 * None Informational
[2] 0.0.0.0 * None Informational
[3] 0.0.0.0 * None Informational
[4] 0.0.0.0 * None Informational
[5] 0.0.0.0 * None Informational
[6] 0.0.0.0 * None Informational
[7] 0.0.0.0 * None Informational
[8] 0.0.0.0 * None Informational
1. Modify - Modify an entry of table
2. Reset - Reset an entry to default from table
0. Return to previous menu
2. Trap Receiver Table V3
[1] 0.0.0.0 * public None Informational
[2] 0.0.0.0 * public None Informational
[3] 0.0.0.0 * public None Informational
[4] 0.0.0.0 * public None Informational
[5] 0.0.0.0 * public None Informational
[6] 0.0.0.0 * public None Informational
[7] 0.0.0.0 * public None Informational
[8] 0.0.0.0 * public None Informational
1. v3 Modify - Modify an entry of table
2. v3 Reset - Reset an entry to default from table
0. v3 Return to previous menu

- 5. Main Window
- 6. Reset Configuration To Default
- 7. Restart Agent
- 0. Exit

## 3.5 ネットワーク設定の方法 3：Web ブラウザ経由

**以下の場合は、SNMP/Web カードの設定を Web ブラウザ経由で行なうことが可能です。**

- **DHCP サーバから IP アドレスを取得する場合**
- **シリアルポート経由あるいは Telnet 経由で IP アドレスの設定を完了している場合**

### ■設定手順

| | |
|---|---|
| **1** | **無停電電源装置 (UPS) に挿入された SNMP/Web カードをネットワークに接続してください。** |
| **2** | **DHCP サーバから IP アドレスを取得する場合、割り当てられた IP アドレスをルータあるいはサーバで確認してください。** |
| **3** | **次に Web ブラウザを立ち上げ、製品に割り当てられた IP アドレスをアドレスバーに入力してください。次に↵を押してください。**<br>**入力例)**<br>**IP アドレスが 192. 168. 2. 150 の場合**<br> |
| **4** | **ログイン画面が表示されます。ユーザ名とパスワードを入力してください。次に↵を押してください。**<br> |

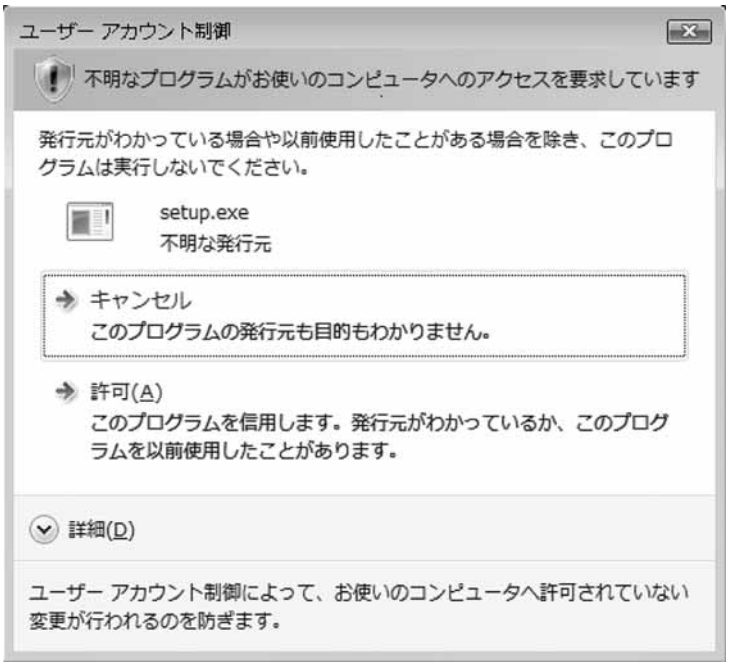
| | |
|---|---|
| **5** | SNMP/Web **カードの初期画面が表示されます。**<br> <br> |

# 4. 自動シャットダウンソフトのインストール

## 4.1 PowerAct Pro Ver. 4.x スレーブエージェントのインストール

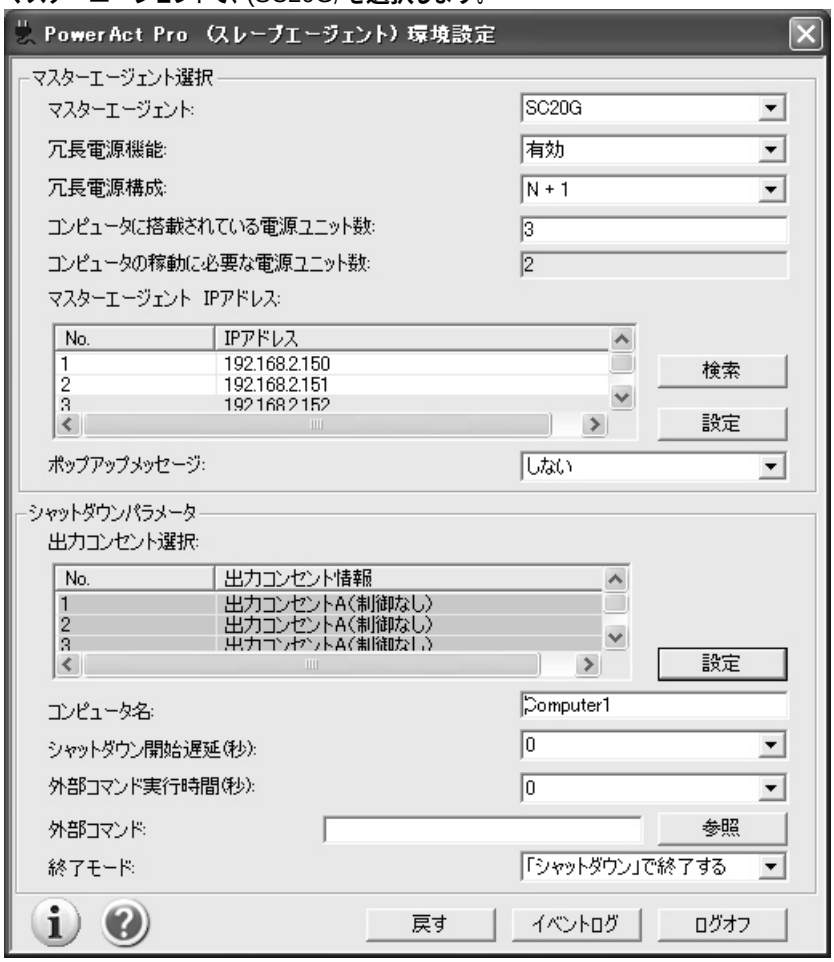
### 4.1.1 Windows 7/Vista/XP/2000/Server 2008/Server 2003 上にインストール

◆ **Windows 7/Vista/Server 2008 の場合**

| | |
|---|---|
| **1** | **本製品に同梱されている** CD-ROM **を** CD-ROM **ドライブに挿入してください。** |
| **2** | Windows **の** [**スタート**] **ボタンをクリックしてください。** |
| **3** | **「検索の開始」欄に「"**CD-ROM **ドライブ名"**¥PowerAct_Pro¥Ver4x¥Windows¥Program¥Slave¥Setup.exe**」と入力し、**[Enter] **キーを押してください。**<br>(**注**:x **には、**0 ～ 9 **までの数字が入ります。**)<br>**例: CD-ROM ドライブが D ドライブの場合**<br>「D:¥PowerAct_Pro¥Ver4x¥Windows¥Program¥Slave¥Setup.exe」**と入力します。**<br>※Windows **の種類によって[ユーザー アカウント制御]画面が表示される場合があります。**<br>  <br><br>**この場合は**[ **許可** ]**をクリックして選択してください。** |
| **4** | **インストール開始後は、表示される画面にしたがってインストールの操作を行なってください。** |
| **5** | **次ページ** [Windows 7/Vista/Server 2008 **以外の場合**] **の** 5 **に進んでください。** |

※Hyper-V(**仮想化環境**)**で使用される場合、「外部コマンド実行時間(秒)」は、仮想**OS **のシャットダウンに必要な時間以上を設定してください。**

## ◆ Windows 7/Vista/Server 2008 以外の場合

| | |
|---|---|
| **1** | 本製品に同梱されている CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。 |
| **2** | Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［ファイル名を指定して実行(R)］を選択してください。 |
| **3** | 「名前(O)」の欄に「"CD-ROM ドライブ名¥PowerAct_Pro¥Ver4x¥Windows¥Program¥Slave¥Setup.exe」と入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。<br>（注：x には、0 ～ 9 までの数字が入ります。）<br>**例: CD-ROM ドライブが D ドライブの場合**<br>「D:¥PowerAct_Pro¥Ver4x¥Windows¥Program¥Slave¥Setup.exe」と入力します。 |
| **4** | インストール開始後は、表示される画面にしたがってインストールの操作を行なってください。 |
| **5** | インストール完了後、アイコンをクリックします。<br>表示されるメニューから[環境設定](Configuration)を選択します。<br>マスターエージェントで、(SC20G) を選択します。<br>  <br>冗長電源機能を使用する場合は、[冗長電源機能]で[有効](Enable)を選択し、<br>[コンピュータに搭載されている電源ユニット数]に冗長電源の基数を入力してください。<br>[マスターエージェント IP アドレス](IP Address of Master Agent )で[検索](Search)ボタンをクリックします。ネットワーク上のマスターエージェントの検索が開始されます。<br>マスターエージェントが表示されたら[追加](Add)をクリックします。操作を中止したいときは[キャンセル](Cancel)をクリックしてください。<br>冗長電源機能を使用する場合は、[マスターエージェント IP アドレス]<br>(IP Address of Master Agent)の No.2 以降について同じ操作を行います。 |

| | |
|---|---|
| | 【注意】<br>[検索](Search)ボタンをクリックしても目的のマスターエージェントが表示されない場合は IP アドレスを直接入力してください。<br>警告メッセージなどのポップアップメッセージを表示する場合は、[ポップアップメッセージ](Popup Message)で[する](Enable)を選択してください。<br>設定内容に問題がなければ、[設定](Submit)ボタンをクリックします。<br>選択したマスターエージェントとの通信が開始され、メニューバーに アイコンが表示されます。 |

### < PowerAct Pro 4.x Windows 版スレーブエージェントのアンインストール手順 >

### ◆ Windows 7/Vista/Server 2008 の場合

| | |
|---|---|
| 1 | Windows の[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]を選択します。<br>[プログラムと機能]をダブルクリックして起動します。 |
| 2 | 表示されるリストから[PowerAct Pro Master Agent]を選択し、[アンインストールと変更]ボタンをクリックします。ユーザアカウント制御に関する警告が表示されますので、[続行]をクリックします |
| 3 | 画面の表示に従ってアンインストール操作を行ってください。 |

### ◆ 上記以外の Windows をご使用の場合

| | |
|---|---|
| 1 | Windows の[スタート]ボタンをクリックし、[設定] -> [コントロールパネル]の順に選択します。 |
| 2 | アプリケーションの[追加と削除]をダブルクリックして起動します。 |
| 3 | 表示されるリストから[PowerAct Pro Master Agent]を選択し、[変更/削除]ボタンをクリックします。 |
| 4 | 画面の表示に従ってアンインストール操作を行ってください。 |

### 4.1.2 Linux 上にインストール

**1**

Linux を起動した後に、CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入してください。GNOME 端末画面から CD-ROM をマウントしてください。

**【参考】**

CD-ROM をマウントするためのコマンド： mount /mnt/cdrom

**【補足】**

使用する Linux OS によっては、CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入すると、CD-ROM を自動的に認識します。

CD-ROM を認識しない場合は、使用している Linux OS の取扱説明書を参照するか、または各 Linux OS のサポートセンタへお問い合わせください。
XWindow を使用していない場合はテキストコンソール画面より操作を行ってください。

**2**

使用中の Linux OS の名称とバージョンを確認してください。
cd コマンドで CD-ROM に収録されている PowerAct Pro/Ver4x/Linux/Program フォルダへ移動してください。
（注：x には、0 ～ 9 までの数字が入ります。）

**3**

32bit の場合:cd/mnt/cdrom/PowerAct_Pro/Ver4x/Linux/Program/Slave/32bit
64bit の場合:cd/mnt/cdrom/PowerAct_Pro/Ver4x/Linux/Program/Slave/64bit

**4**

ls コマンドで、CD-ROM 内に収録されているフォルダを確認してください。

**【補足】**

① ls コマンドを実行してもフォルダがわからない場合には、ファイルマネージャなどを使用してフォルダをご確認ください。ファイルマネージャからフォルダを確認する場合は、次のフォルダを確認してください。
（確認するフォルダ：
/mnt/cdrom/PowerAct_Pro/Ver4x/Linux/Program/Slave/32bit
または
/mnt/cdrom/PowerAct_Pro/Ver4x/Linux/Program/Slave/64bit）

② 使用中の Linux OS のフォルダへ移動してください。
/RedHat_Enterprise_Linux_Ver4 または
/Asianux_Server_3

**5**

GNOME 端末画面から次のコマンドを入力してください。

ご使用される OS にあったインストールプログラムを CD-ROM より選択し、以下の通り入力して、インストールを実行してください。

(i386 系プロセッサの場合)
#rpm -i PowerActPro-Slave-4.x-i386.rpm
(x86-64 系プロセッサの場合)
#rpm -i PowerActPro-Slave-4.x-x86-64.rpm

| | |
|---|---|
| INFORMATION | rpm ファイルは、PowerAct Pro/Ver4x/Linux/Program/Slave の 32bit フォルダまたは 64bit フォルダ内の各 Linux OS フォルダに収録されています。上記コマンドを実行するとインストールが自動的に実行されます。<br>インストール開始後は、表示される画面に従ってインストールを行ってください。 |

**6**

**以下の通り入力して、スレイブエージェントを起動してください。**

#/usr/lib/PowerActPro/SlaveAgent/Slaveconfig.sh

**メッセージに従って、**SNMP/Web**カードの** IP **アドレス、冗長電源の有無、待機時間** (**シャットダウンコマンド受信後、シャットダウン動作を開始するまでの時間**) **等を入力してください。**

**Master Agent**
**1. PA Pro**
**2. SC20**
**3. SC20G**
**Select Number ->** `1`

**Redundant Power Supply Setting**
**1. Enable**
**2. Disable**
**Select Number ->** `1`

**Redundant Power Supply Mode**
**1. 1+1**
**2. N+1**
**Select Number ->** `2`

**The Total of Power Supply Units in the Computer**
*** The range is from 2 to 8**
**Input Value:** `3`

**IP Address of Master Agent**
**1. End**
**2. Add a New IP Manually**
**3. Add a New IP Manually from Net Search**
**Select Number ->** `2`

**(2 を入力した場合)**
**Please Input the IP:** `192.168.2.150`

**Popup Message**
**1. Enable**
**2. Disable**
**Select Number ->** `1`

**Select UPS Outlet**
**192.168.2.150**
**1. Outlet A(no Control)**
**2. Outlet B**
**3. Outlet C**
**Select Number ->** `1`

**Computer Name**
**Input Value:** `Computer1`

**Shutdown Delay Time(Sec.)**
***The range of Shutdown delay time is from 0 Sec to 600 Sec.**
***The step between "0 Sec to 600 Sec" is "60 Sec".**
**Input Value:** `120`

**Run External Command Time(Sec.)**
***The range of Shutdown delay time is from 0 Sec to 600 Sec.**
***The step between "0 Sec to 600 Sec" is "60 Sec".**
**Input Value:** `120`

**Run External Command**
**Input a executable file:** `Is/>/pa.txt`

**Select Shutdown Mode**
**1. Shutdown**
**Select Number ->** `1`

**黒枠の部分が変更入力を行う部分です。**
PowerActPro(**エージェント**)**環境設定のウィンドウが自動で開きます。設定した内容と、画面右下のステータスアイコンの常駐を確認してください。**

INFORMATION

Master Agent：
マスターエージェントの種別です。ご利用のマスターエージェントを選択してください。

Redundant Power Supply Setting：
冗長電源の有無です。有りの場合は Enable を選択してください。

Redundant Power Supply Mode：
冗長電源の数です。2 基か、3 基以上かを指定してください。

The Total of Power Supply Units in the Computer：
電源ユニットの具体的な数を指定してください。最大 8 基まで指定できます。

IP Address of Master Agent：
PowerAct Pro(Slave Agent)とネットワーク通信を行うマスターエージェントの IP アドレスを入力してください。

Popup Message：
各種メッセージをポップアップ表示するかの選択です。表示する場合は Enable を選択してください。

Select UPS Outlet：
コンピュータが接続されている UPS の出力コンセントを指定してください。

Computer Name：
ネットワーク構成内でのこのコンピュータの名前を、任意で設定してください。

Shutdown Delay Time：
マスターエージェントよりシャットダウン開始命令を受信してから、さらに本コンピュータのシャットダウン開始を遅延させる時間です。0 秒から 600 秒まで、60 秒刻みで任意の値を設定できます。

Run External Command Time：
外部コマンドを実行するまでの待機時間です。0 秒から 600 秒まで、60 秒刻みで任意の値を設定できます。

Run External Command：
外部コマンド実行ファイルを格納しているディレクトリへのパスを記述してください。

Select Shutdown Mode：
シャットダウンのモード設定です。UNIX では「シャットダウン」のみ選択できます。

(*)：上記の[シャットダウン開始遅延(秒)]と[外部コマンド実行時間(秒)]の 2 つの値の合計が[UPS 停止までの待ち時間（秒）]よりも大きくならないように設定してください。

## < PowerAct Pro 4.x Linux 版スレーブエージェントのアンインストール手順 >

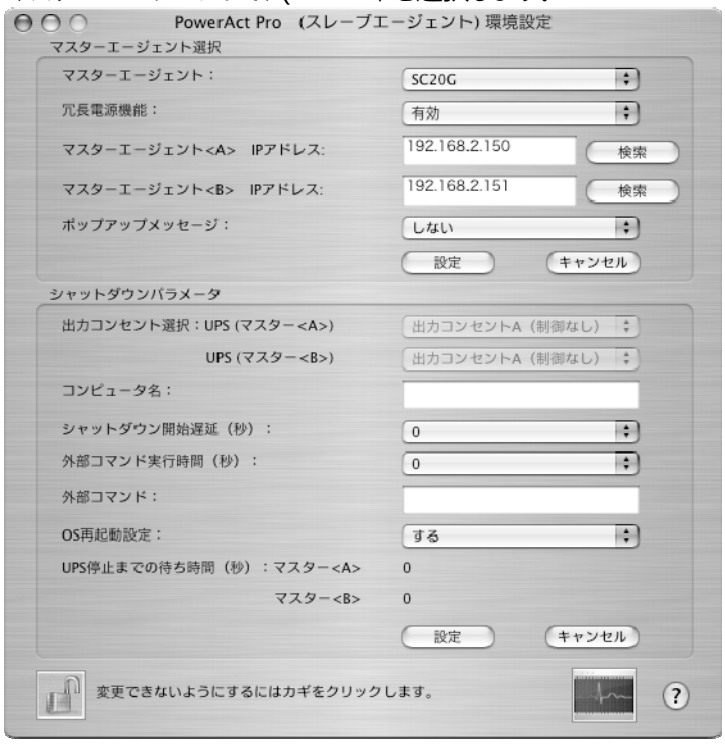
| | |
|---|---|
| **1** | root 権限があるユーザ名で Linux へログインしてください。 |
| **2** | [起動]をクリックして、[アプリケーション] > [ユーティリティ] > [端末エミュレータ]を選択してください。<br>以下の通り入力して、アンインストールを実行してください。<br>#rpm -e PowerActPro-Slave |
| **3** | 本当にアンインストールを実行するかを確認します。アンインストールを行う場合は、<br>y<br>と入力してエンターキーを押し、アンインストールを継続してください。行わない場合は、<br>n<br>と入力してアンインストールを中止してください。 |
| **4** | 管理者権限でのコマンドの実行を確認します。問題がなければ、<br>y<br>と入力してエンターキーを押し、アンインストールを継続してください。 |
| **5** | 処理が完了すれば、アンインストールは完了です。 |

INFORMATION

PowerAct Pro アイコン表示について
ご使用される Linux OS によっては、次のような現象が発生する場合があります。
≪現象≫
- PowerAct Pro マスターエージェントをインストールした後に、XWindow のデスクトップ画面上に「(PowerAct Pro ショートカットアイコン)」を表示しない。
- PowerAct Pro マスターエージェントをアンインストールした後に、XWindow のデスクトップ画面から「(PowerAct Pro ショートカットアイコン)」を削除しない。

このような現象が発生した場合は、次のような方法でデスクトップ画面のリフレッシュを行ってください。
≪デスクトップ画面リフレッシュ方法≫
① 「Ctrl＋R」キーを押して XWindow のデスクトップを更新する。
② ログオフ⇒ログインを実施する。
③ OS を再起動する。

### 4.1.3 Mac 上にインストール

| | |
|---|---|
| **1** | Mac OS X を起動した後に、CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入してください。 |
| **2** | デスクトップのインストール CD アイコンをダブルクリックします。<br>CD ウィンドウが表示されます。CD フォルダ内の<br>/PowerAct_Pro/Ver4x/Mac/Program/Slave/Mac_OS_105 又は Mac_OS_106 フォルダをクリックし、[PowerAct Pro(Slave Agent)]アイコンをダブルクリックします。<br>(注：x には、0 ～ 9 までの数字が入ります。) |
| **3** | 「インストール開始後は、表示される画面に従ってインストールを行なってください。 |
| **4** | インストール完了後、アイコンをクリックします。<br>表示されるメニューから[環境設定](Configuration)を選択します。<br>環境設定画面が表示されたら、 ボタンをクリックします。<br>認証画面が表示されるので、OS 管理者のユーザ名とパスワードを入力し[OK]をクリックします。<br>マスターエージェントで、(SC20G) を選択します。<br>  <br><br>冗長電源機能を使用する場合は、[冗長電源機能]で[有効](Enable)を選択してください。<br>[マスターエージェント<A> IP アドレス](IP Address of Master Agent <A>)で[検索](Search)ボタンをクリックします。ネットワーク上のマスターエージェントの検索が開始されます。マスターエージェントが表示されたら[追加](Add)をクリックします。操作を中止したいときは[キャンセル](Cancel)をクリックしてください。<br>冗長電源機能を使用する場合は、[マスターエージェント<B> IP アドレス]<br>(IP Address of Master Agent <B>)について同じ操作を行います。<br>[注意]<br>[検索](Search)ボタンをクリックしても目的のマスターエージェントが表示されない場合は IP アドレスを直接入力してください。<br>警告メッセージなどのポップアップメッセージを表示する場合は、[ポップアップメッセージ](Popup Message)で[する](Enable)を選択してください。<br>設定内容に問題がなければ、[設定](Submit)ボタンをクリックします。<br>選択したマスターエージェントとの通信が開始され、メニューバーにアイコンが表示されます。 |

## < PowerAct Pro 4.x Mac 版スレーブエージェントのアンインストール手順 >

| | |
|---|---|
| **1** | インストール CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入してください。 |
| **2** | デスクトップのインストール CD アイコンをダブルクリックします。CD ウィンドウが表示されます。 |
| **3** | CD フォルダ内の/PowerAct_Pro/Ver4x/Mac/Program/Slave/Mac_OS_105 又は Mac_OS_106 フォルダをクリックし、[Uninstall PowerAct Pro(Slave Agent)]アイコンをダブルクリックします。<br>（注：x には、0 ～ 9 までの数字が入ります。） |
| **4** | アンインストール開始後は、表示される画面に従ってインストールを行なってください。 |
| **5** | 「PowerAct Pro(Slave Agent)をアンインストールしました」と表示されます。[OK]をクリックしてください。 |

### 4.1.4 Unix 上にインストール

| | |
|---|---|
| **1** | UNIX が動作中のコンピュータのログイン画面より、管理者権限(root)でログインしてください。<br><参考>テキストコンソールでログインする場合は、ログイン画面より[オプション]を選択し、プルダウンメニューより[コマンド行ログイン]を選択してください。コンソールログイン画面が表示されますので、画面のメッセージに従って管理者権限でログインを行ってください。 |
| **2** | 本製品に同梱されている CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。 |
| **3** | [起動]をクリックして、[アプリケーション]－[ユーティリティ]－[端末エミュレータ]を選択して下さい。<br>インストール手順 1 にてコマンド行ログインを実行した場合、この手順は不要です。 |
| **4** | 以下の通り入力して、ディレクトリを移動してください。<br>(SPARC 系プロセッサの場合)<br>#cd/cdrom/SC_V***_****/PowerAct_Pro/Ver4x/Unix/Program/Slave/SUN_OS10/SPARC<br>(改行せずに下行を続けてください)<br><br>(x86 系プロセッサの場合)<br>#cd/cdrom/SC_V***_****/PowerAct_Pro/Ver4x/Unix/Program/Slave/SUN_OS10/x86<br>(改行せずに下行を続けてください)<br><br>注)“ SC_V***_**** ” 部分には、CD のボリュームラベルを入力してください。<br>(注：x には、0 ～ 9 までの数字が入ります。) |
| **5** | 以下の通り入力して、インストールを実行してください。<br><br>(SPARC 系プロセッサの場合)<br>#pkgadd –d (1 つスペースを空け、改行せずに下行を続けてください)<br>PowerActPro-SlaveAgent-4.x-sol10-sparc-local.pkg<br>(x86 系プロセッサの場合)<br>#pkgadd –d (1 つスペースを空け、改行せずに下行を続けてください)<br>PowerActPro-SlaveAgent-4.x-sol10-x86-local.pkg<br><br>表示されるメッセージに従ってインストールを行ってください。 |

**6**

**以下の通り入力して、スレイブエージェントを起動してください。**

#/usr/sfw/SlaveAgent/slaveconfig.sh

**メッセージに従って、**SNMP/Web **カードの** IP **アドレス、冗長電源の有無、待機時間（シャットダウンコマンド受信後、シャットダウン動作を開始するまでの時間）等を入力してください。**

**Master Agent**
**1. PA Pro**
**2. SC20**
**3. SC20G**
**Select Number ->** 1

**Redundant Power Supply Setting**
**1. Enable**
**2. Disable**
**Select Number ->** 1

**Redundant Power Supply Mode**
**1. 1+1**
**2. N+1**
**Select Number ->** 2

**The Total of Power Supply Units in the Computer**
*** The range is from 2 to 8**
**Input Value:** 3

**IP Address of Master Agent**
**1. End**
**2. Add a New IP Manually**
**3. Add a New IP Manually from Net Search**
**Select Number ->** 2

**(2 を入力した場合)**
**Please Input the IP:** 192.168.2.150

**Popup Message**
**1. Enable**
**2. Disable**
**Select Number ->** 1

**Select UPS Outlet**
**192.168.2.150**
**1. Outlet A(no Control)**
**2. Outlet B**
**3. Outlet C**
**Select Number ->** 1

**Computer Name**
**Input Value:** Computer1

**Shutdown Delay Time(Sec.)**
***The range of Shutdown delay time is from 0 Sec to 600 Sec.**
***The step between "0 Sec to 600 Sec" is "60 Sec".**
**Input Value:** `120`

**Run External Command Time(Sec.)**
***The range of Shutdown delay time is from 0 Sec to 600 Sec.**
***The step between "0 Sec to 600 Sec" is "60 Sec".**
**Input Value:** `120`

**Run External Command**
**Input a executable file:** `Is/>/pa.txt`

**Select Shutdown Mode**
**1. Shutdown**
**Select Number ->** `1`

**黒枠の部分が変更入力を行う部分です。**
**設定の完了後、**PowerActPro(**スレイブエージェント)環境設定のウィンドウが自動で開きます。設定した内容と、画面右下のステータスアイコンの常駐を確認してください。**

INFORMATION

Master Agent：
マスターエージェントの種別です。ご利用のマスターエージェントを選択してください。

Redundant Power Supply Setting：
冗長電源の有無です。有りの場合は Enable を選択してください。

Redundant Power Supply Mode：
冗長電源の数です。2 基か、3 基以上かを指定してください。

The Total of Power Supply Units in the Computer：
電源ユニットの具体的な数を指定してください。最大 8 基まで指定できます。

IP Address of Master Agent：
PowerAct Pro(Slave Agent)とネットワーク通信を行うマスターエージェントの IP アドレスを入力してください。

Popup Message：
各種メッセージをポップアップ表示するかの選択です。表示する場合は Enable を選択してください。

Select UPS Outlet：
コンピュータが接続されている UPS の出力コンセントを指定してください。

Computer Name：
ネットワーク構成内でのこのコンピュータの名前を、任意で設定してください。

Shutdown Delay Time：
マスターエージェントよりシャットダウン開始命令を受信してから、さらに本コンピュータのシャットダウン開始を遅延させる時間です。0 秒から 600 秒まで、60 秒刻みで任意の値を設定できます。

Run External Command Time：
外部コマンドを実行するまでの待機時間です。0 秒から 600 秒まで、60 秒刻みで任意の値を設定できます。

Run External Command：
外部コマンド実行ファイルを格納しているディレクトリへのパスを記述してください。

Select Shutdown Mode：
シャットダウンのモード設定です。UNIX では「シャットダウン」のみ選択できます。

(*)：上記の[シャットダウン開始遅延(秒)]と[外部コマンド実行時間(秒)]の 2 つの値の合計が[UPS 停止までの待ち時間（秒）]よりも大きくならないように設定してください。

**< PowerAct Pro 4.x Unix 版スレーブエージェントのアンインストール手順 >**

| | |
|---|---|
| **1** | インストール手順 3 と同様に端末エミュレータを立ち上げ、以下の通り入力してください。<br><br>#pkgrm PowerActPro-SlaveAgent<br><br>PowerAct Pro Ver.4.x のアンインストールを開始します。表示されるメッセージに従ってアンインストールを完了してください。 |

### 4.1.5 VMware 上にインストール

#### ◆ VMwareESX の場合

| | |
|---|---|
| **1** | VMware ESX が動作中にコンピュータに、root 権限でログインしてください。<br>本製品に同梱されている CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。 |
| **2** | mount /dev/cdrom と入力してください。 |
| **3** | ディレクトリをマウントポイントに移動してください。<br>ここでは/PowerAct_Pro/Ver4x/VMware/Program/Slave/ESX_35 に移動します。 |
| **4** | 次のコマンドを入力し、インストールを実行してください。<br>#./install.sh<br><br>コマンド実行後、ソフトウェア使用許諾書が表示されますので、内容をお読みください。<br>ご同意いただける場合は、[Y] キーを押してインストール行ってください。<br>ご同意いただけない場合は、[N] キーを押してインストールを中止してください。<br>[Y] キーを押した場合は、自動的にインストールを実行し、完了後に次のような英語メッセージで表示されますので、Enterキーを押してください。<br><br>PowerAct Pro Slave Agent program has been installed completely.<br>Please run below command and setup the shutdown parameters of slave agent to meet your system.<br><br>注意: VMware ESXにPowerActPro スレーブエージェントをインストールする時、自動的に次のネットワークポートをオープンします。<br><br>UDP：69、200、4114、4117<br>TCP：4112、4626<br><br>次々ページ 5 に進んでください。 |

## ◆ VMware ESXi の場合

| | |
|---|---|
| **1** | ※ESXi 3.5 は、事前に SSH 機能を使用して接続できるよう、設定してください。<br>本製品に同梱されている CD-ROM に収録されている「/PowerAct_Pro/Ver4x/VMware/Program/Slave/ESXi_35 」のファイルを全てハードディスクの任意へコピーしてください。※注 |
| **2** | SSH で ESXi に root 権限でリモートログインし、cd コマンドでプログラムが格納されたディレクトリ（手順1でのコピー先）へ移動します。 |
| **3** | ls コマンドで、ディレクトリを確認してください。 |
| **4** | 次のコマンドを入力し、インストールを実行してください。<br>#./install.sh<br><br>コマンド実行後、ソフトウェア使用許諾書が表示されますので、内容をお読みください。<br>ご同意いただける場合は、[Y] キーを押してインストール行ってください。<br>ご同意いただけない場合は、[N] キーを押してインストールを中止してください。<br>[Y] キーを押した場合は、自動的にインストールを実行し、完了後に次のような英語メッセージで表示されますので、Enterキーを押してください。<br><br>PowerAct Pro Slave Agent program has been installed completely.<br>Please run below command and setup the shutdown parameters of slave agent to meet your system.<br><br>次ページ 5 に進んでください。 |

※注 コピーしたディレクトリ内には、アンインストール時に必要なファイルも含まれています。

**5**

**以下の通り入力して、スレイブエージェントを起動してください。**

VMware ESX **の場合**
#/usr/lib/PowerActPro/SlaveAgent/slaveconfig.sh

VMware ESXi **の場合**
#/bootbank/PowerActPro/SlaveAgent/slaveconfig.sh

**メッセージに従って、**SNMP/Web **カードの** IP **アドレス、冗長電源の有無、待機時間（シャットダウンコマンド受信後、シャットダウン動作を開始するまでの時間）等を入力してください。**

**Master Agent**
**1. PA Pro**
**2. SC20**
**3. SC20G**
**Select Number ->** 3

**Redundant Power Supply Setting**
**1. Enable**
**2. Disable**
**Select Number ->** 1

**Redundant Power Supply Mode**
**1. 1+1**
**2. N+1**
**Select Number ->** 2

**The Total of Power Supply Units in the Computer**
*** The range is from 2 to 8**
**Input Value:** 3

**IP Address of Master Agent**
**1. End**
**2. Add a New IP Manually**
**3. Add a New IP Manually from Net Search**
**Select Number ->** 3

**(3 を入力した場合)**
**Select a New IP From Net Search**
**Net Search is in Process, Please wait …**

**1. 192.168.3.4**
**0. Return**
**Select Number ->** 1
**Detect the IP, Please Wait ...**

**IP Address of Master Agent**
**1. End**
**2. Add a New IP Manually**
**3. Add a New IP Manually from Net Search**
**Select Number ->** 1

**Popup Message**
**1. Enable**
**2. Disable**
**Select Number ->** 1

**Select UPS Outlet**
**192.168.2.150**
**1. Outlet A(no Control)**
**2. Outlet B**
**3. Outlet C**
**Select Number ->** `1`

**Computer Name**
**Input Value:** `Computer1`

**Shutdown Delay Time(Sec.)**
***The range of Shutdown delay time is from 0 Sec to 600 Sec.**
***The step between "0 Sec to 600 Sec" is "60 Sec".**
**Input Value:** `120`

**Run External Command Time(Sec.)**
***The range of Shutdown delay time is from 0 Sec to 600 Sec.**
***The step between "0 Sec to 600 Sec" is "60 Sec".**
**Input Value:** `120` **注1**

**Run External Command**
**Input a executable file:** `Is/>/pa.txt`

**Select Shutdown Mode**
**1. Shutdown**
**Select Number ->** `1`

**注** 1 ″0″**に設定しないでください。**
**仮想** OS **のシャットダウンに必要な時間以上を設定してください。**

**黒枠の部分が変更入力を行う部分です。**
Agent Start **と表示され、**SC20G **と通信を開始します。**

**<PowerAct Pro 4.x VMware 版スレーブエージェントのアンインストール手順>**

## ◆ VMwareESX の場合

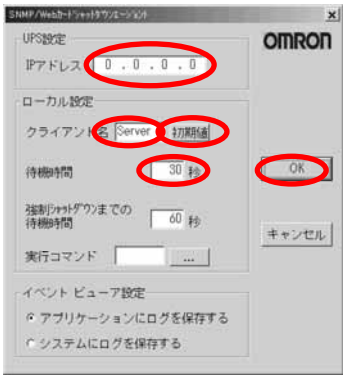
| | |
|---|---|
| **1** | root 権限があるユーザ名で VMware ESX へログインしてください。<br>同梱の CD-ROM をコンピュータに挿入してください。 |
| **2** | mount/dev/cdrom と入力してください。 |
| **3** | ディレクトリをマウントポイントに移動します。<br>ここで/PowerAct_Pro/Ver4x/VMware/Program/Slave/ESX_35 に移動します。 |
| **4** | 下記のコマンドでアンインストールを実行してください。<br># ./uninstall.sh<br>注意※ VMware ESX から PowerActPro スレーブエージェントをアンインストールする時、自動的に次のネットワークポートをクローズします。<br>UDP：69、200 、4114 、4117<br>TCP：4112、4626 |
| **5** | 本当にアンインストールを実行するかを確認します。アンインストールを行う場合は、<br>y<br>と入力してエンターキーを押し、アンインストールを継続してください。行わない場合は、<br>n<br>と入力してアンインストールを中止してください。 |
| **6** | 管理者権限でのコマンドの実行を確認します。問題がなければ、<br>y<br>と入力してエンターキーを押し、アンインストールを継続してください。 |
| **7** | 処理が完了すれば、アンインストールは完了です。 |

## ◆ VMware ESXi の場合

| | |
|---|---|
| **1** | root 権限があるユーザ名で VMware ESXi へログインしてください。 |
| **2** | cd コマンドで、インストール時に使用したディレクトリ（p.44 手順 1 参照）へ移動します。 |
| **3** | ls コマンドで、ディレクトリを確認してください。 |
| **4** | 下記のコマンドでアンインストールを実行してください。<br># ./uninstall.sh |
| **5** | 本当にアンインストールを実行するかを確認します。アンインストールを行う場合は、<br>y<br>と入力してエンターキーを押し、アンインストールを継続してください。行わない場合は、<br>n<br>と入力してアンインストールを中止してください。 |
| **6** | 管理者権限でのコマンドの実行を確認します。問題がなければ、<br>y<br>と入力してエンターキーを押し、アンインストールを継続してください。 |
| **7** | 処理が完了すれば、アンインストールは完了です。 |

## 4.2 シャットダウンエージェントのインストール

### 4.2.1 Windows Server2003/NT4.0/2000/XP 上にインストール

| | |
|---|---|
| **1** | **本製品に同梱されている** CD-ROM **を** CD-ROM **ドライブに挿入してください。** |
| **2** | CD-ROM **内「**Shutdown_Agent**」「**Program**」「**Windows**」「**x86**」フォルダ内の** Install.exe **を実行してください。** |
| **3** | **以下の設定画面が表示されます。**<br>SNMP/Web **カードの** IP **アドレス、クライアント名、待機時間を入力してください。**<br>**また[初期値]をクリックした場合、自分が使用しているコンピュータ名称がクライアント名として入力されます。**<br>**入力が完了したら[OK]をクリックしてください。**<br>  <br>**INFORMATION**<br>**待機時間**：SNMP/Web **カードからのシャットダウンコマンド受信後、シャットダウン開始までの時間です。**[UPS **停止までの待ち時間**](*)**よりも充分小さい値を設定してください。**<br>**強制シャットダウンまでの待機時間**：**実行コマンドが設定されている場合、上の待機時間経過後、そのコマンドを起動します。実行コマンドを終了するまでに必要な時間を設定してください。**<br>**イベントビューワ設定**：SNMP/Web **カードのイベントログの保存先を設定してください。保存したログは** OS **標準のイベントビューワで確認することができます。**<br>(*)：[UPS **停止までの待ち時間**]**にアクセスするには、**SNMP/Web **カードのホームページの初期画面から、**[UPS **管理**]-[**シャットダウン設定**]**の順に選択してください。** |

**INFORMATION**

**シャットダウン、警告表示等の情報は** UDP **の** 200 **番ポートを使用して通信されます。**

## ■シャットダウンの動作順序

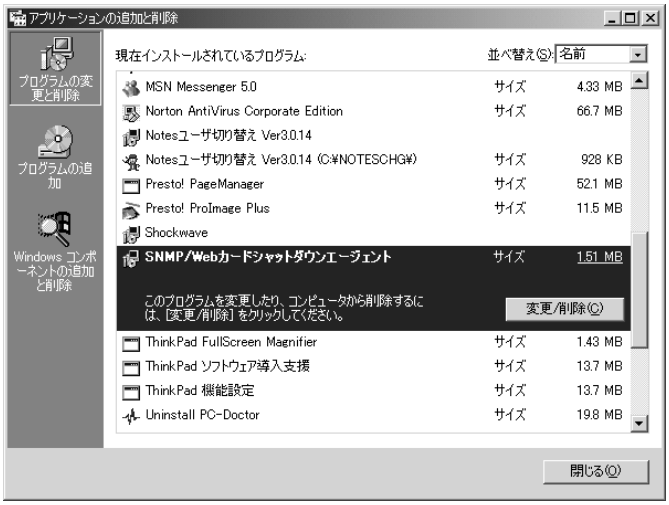
| | |
|---|---|
| **1** | SNMP/Web カードが、「入力電源異常」などの電源異常を検出します。 |
| **2** | SNMP/Web カード上の待機時間経過後、SNMP/Web カードがシャットダウンコマンドをネットワーク上のクライアントに送信します。 |
| **3** | 自動シャットダウンソフトに設定した待機時間の間、以下のダイアログボックスが表示されます。この間は即時のシャットダウンおよびシャットダウンのキャンセルを選択する事が可能です。<br> |
| **4** | シャットダウンカウンタが 0 を示した時点でコンピュータのシャットダウンを開始します。 |

INFORMATION

シャットダウンエージェントには、ステータスを示すための 5 種類のアイコンが用意されています。

| | | |
|---|---|---|
| 1 | | 無停電電源装置 (UPS) と正常に通信しています。 |
| 2 | | 無停電電源装置 (UPS) を探しています。 |
| 3 | | クライアントのシャットダウンを間もなく実行します。 |
| 4 | | シャットダウンサービスが中断されています。 |
| 5 | | リモート無停電電源装置 (UPS) のシャットダウンを間もなく実行します。<br>あるいは、リモート無停電電源装置 (UPS) のシャットダウンが完了しました。 |

## ■アンインストール手順

| | |
|---|---|
| **1** | **タスクバーのバッテリアイコンを右クリックしてください。**<br> |
| **2** | **[終了]を選択すると、シャットダウンサービスを停止できます。** |
| **3** | **[スタート]をクリックして、[設定]－[コントロールパネル]を選択してください。** |
| **4** | **次に[ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝの追加と削除]を選択してください。** |
| **5** | **アプリケーション一覧から“SNMP/Web カードシャットダウンエージェント”を選択してください。**<br>**次に[変更／削除]をクリックしてください。**<br>**アンインストールを開始します。**<br>  |

### 4.2.2 Linux 上にインストール

| | |
|---|---|
| **1** | Linux が動作中のコンピュータに、root 権限でログインしてください。 |
| **2** | 本製品に同梱されている CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。 |
| **3** | mount /dev/cdrom と入力してください。 |
| **4** | ディレクトリをマウントポイントに移動してください。<br>ここでは/mnt/cdrom/Shutdown_Agent/Prograom/Linux/x86 に移動します。 |
| **5** | 以下の通り入力してシャットダウンエージェントを ./uGuard に解凍してください。<br><br>#cd /mnt/cdrom/Shutdown_Agent/Prograom/Linux/x86<br>#mkdir /uGuard<br>#cp ./ug_1_10_redhatAS4_SA.tar /uGuard/uGuard.tar<br>#cd /uGuard<br>#tar xvf uGuard.tar |

**6**

**以下の通り入力して、インストールシェルコマンドを実行してください。**

# ./install.sh

**このシェルコマンドにより、**”vi uGuard.conf”**が起動します。**

**ここで無停電電源装置** (UPS) **の** IP **アドレス、コンピュータ名** (**オプション**) **、待機時間** (**シャットダウンコマンド受信後、シャットダウン動作を開始するまでの時間**) **等を変更してください。**

```
;Sample configuration file of uGuard
;RemoteHostIP: The IP address of remote UPSs.
;Set the address to default IP (0.0.0.0) if no SA is connected.
RemoteHostIP = 0.0.0.0

;ClientName:The name of the this machine[optional].
;          Free form for this paramenter.
;          Maximum 27 bytes long.
ClientName = MainServer

;WarningBeep status:
WarningBeep = 0
;1 = TRUE; 0 = FALSE(default)

;ShutdownDelay: The local delay time before shutdown.
;           Range from 0 to 65536 seconds.
ShutdownDelay = 120

;Special shutdown script
ShutdownScript = /usr/foo
;ForceShutdownDelay: The delay time for excuting shutdown program
;           Range from 0 to 65536 seconds.
ForceShutdownDelay = 120
:
```

**赤字の部分が変更入力を行なう部分です。**
”vi uGuard.conf”**の変更内容が保存した後、シャットダウンエージェントのインストールは完了します。**

| | |
|---|---|
| INFORMATION | **シャットダウン、警告表示等の情報は** UDP **の** 200 **番ポートを使用して通信されます。** |

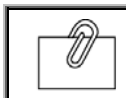
## ■”uGuard“パラメータの詳細

uGuard パラメータの詳細については、以下の画面例のリストを参照してください。

**[例]**
**マニュアルバージョン情報を表示するためのコマンド”-h”を実行するには、以下の通り入力してください。**

#cd /uGuard
#./uGuard -h

```
Usage: uGuard [-h][-v][-sS][-uU][-d][-r][-p][-l][-e][-gn]
    -h: This manual page.
    -v: Show revision information
    -s: Start the daemon now
    -S: Start the daemon at next boot up time
    -u: Unload this daemon
    -U: Unload this daemon, don't restart at next boot time
    -d: Suspend program
    -r: Resume this daemon
    -p: Probe the daemon status
    -l: List daemon configuration
    -e: Modify daemon configuration
    -b: Enable Beep.
    -o: Disable Beep, default.
    -i : Ignor shutdown request.
    -t : Enable shutdown request, default.
     -gn: Log level (logfile is /var/adm/uGuard.log)
            n = 0, No log activities
            n = 1, Log start/ stop/ warning activities
```

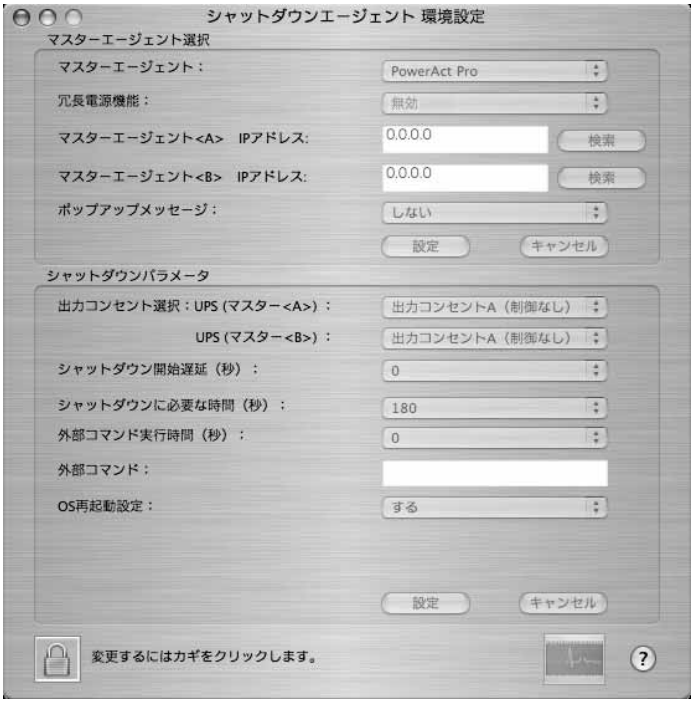

INFORMATION

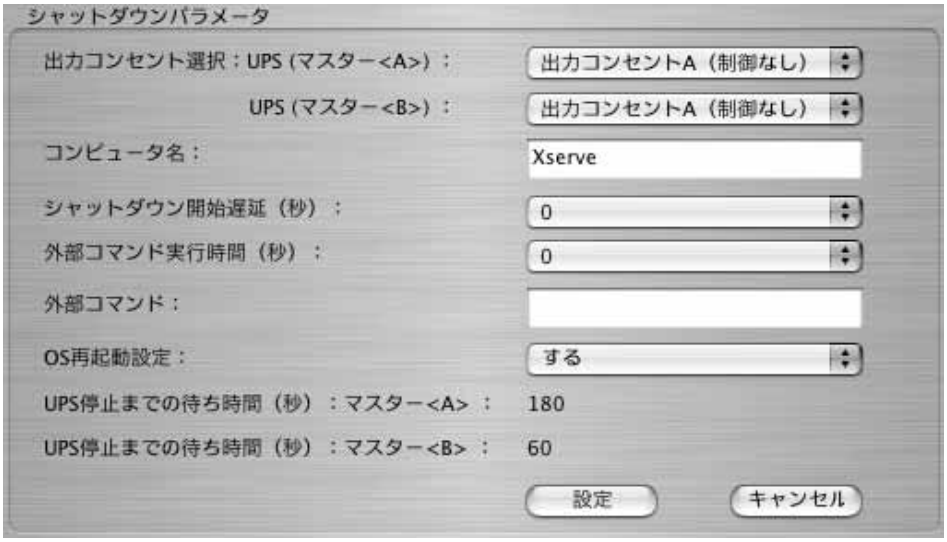
OS 起動時にシャットダウンエージェントを自動起動させる時は、
#./uGuard –S
を実行してください。

## ■”uGuard“の削除手順

| | |
|---|---|
| **1** | "uGuard"を解凍したディレクトリからアンインストールコマンドを実行してください。<br><br>#cd /uGuard<br>#./unins.sh<br>unins.sh を実行するとログファイルを除くすべてのファイルを削除します。 |
| **2** | ログファイルを削除するには以下の通り入力してください。<br><br>#rm /var/log/uGuard.log |

### 4.2.3 Mac OS X/X Server 上にインストール

| | |
|---|---|
| **1** | 本製品に同梱されている CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。 |
| **2** | デスクトップのインストール CD-ROM アイコンをダブルクリックして、CD-ROM ウィンドウを表示してください。 |
| **3** | [Shutdown_Agent] [Program]フォルダ内の[Mac] フォルダを開き、お使いの OS のフォルダ（[v10.3 Panther]、[v10.4 Tiger]）以下にある[Shutdown Agent]アイコンをダブルクリックします。 |
| **4** | 画面の指示に従ってインストール操作を行なってください。 |
| **5** | 以下の環境設定画面が表示されます。<br>  <br><br> をクリックしてください。表示されるダイアログボックスに Mac OS の管理者ユーザの名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックしてください。各項目が設定できるようになります。 |
| **6** | [マスターエージェント]で[SC20G]を選択してください。<br>冗長電源構成を構築する場合、冗長電源機能を[有効]にしてください。<br>[検索]ボタンをクリックしてください。ネットワーク内の SNMP/Web カードが表示されたら、コンピュータの電源を接続している UPS の SNMP/Web カードを選択して[追加]ボタンをクリックしてください。[検索]ボタンをクリックしても SNMP/Web カードが表示されない場合は、[マスターエージェント IP アドレス]に SNMP/Web カードの IP アドレスを直接入力してください。 |
| **7** | 警告メッセージなどのポップアップメッセージを表示する場合は、[ポップアップメッセージ]で[する]を選択してください。 |
| **8** | [設定]ボタンをクリックしてください。<br>選択したマスターエージェントとの通信が開始され、メニューバーに アイコンが表示され、マスターエージェントで設定した[UPS シャットダウン開始遅延（秒）]がウィン |

| | |
|---|---|
| | ドウの最下行に表示されます。<br>マスターエージェントの設定を中止するときは[キャンセル]ボタンをクリックしてください。 |
| **9** | コンピュータのシャットダウンパラメータを設定してください。設定が終了したら[OK]ボタンをクリックします。設定を中止する場合は[キャンセル]をクリックしてください。<br>  <br><br><br>INFORMATION<br>**出力コンセント選択**：<br>コンピュータの電源を接続している出力コンセントを選択します。出力コンセント制御機能のない無停電電源装置 (UPS) の場合は、この項目は表示されません。<br>**コンピュータ名**：<br>SNMP/Web カードの設定画面 ([クライアントテーブル]) に表示されるコンピュータ名を設定します。<br>**シャットダウン開始遅延(秒)**：<br>SNMP/Web カードからのシャットダウンコマンド受信後、シャットダウンを開始するまでの時間です。<br>**外部コマンド実行時間(秒)**：<br>[外部コマンド]が設定されている場合、コマンドを実行するために必要な時間を設定します。<br>**外部コマンド**：<br>シャットダウン前に実行する必要のある外部コマンドがある場合は、コマンド名を設定します。<br>OS **再起動設定**：<br>電源が正常に戻り、無停電電源装置 (UPS) が再起動する際に、OS を再起動するかどうかを設定します。<br>(*)：上記の[シャットダウン開始遅延(秒)]と[外部コマンド実行時間(秒)]の 2 つの値の合計が[UPS 停止までの待ち時間 (秒) ]よりも大きくならないように設定してください。 |

## ■シャットダウンの動作順序

| | |
|---|---|
| **1** | SNMP/Web カードが、「入力電源異常」などの電源異常を検出します。 |
| **2** | SNMP/Web カード上の待機時間経過後、SNMP/Web カードがシャットダウンコマンドをネットワーク上のクライアントに送信します。 |
| **3** | 「電源異常のためシャットダウンを開始します」というメッセージが表示されます。[シャットダウン開始遅延(秒)]に設定した待機時間の間、待機状態になります。 |
| **4** | 実行する外部コマンドがある場合は、[外部コマンド実行時間(秒)]の時間でコマンドが実行されます。 |
| **5** | [シャットダウン開始遅延(秒)]と[外部コマンド実行時間(秒)]で設定した時間が経過した後、OS のシャットダウンが開始され、コンピュータがシャットダウンされます。 |

INFORMATION

自動シャットダウンソフトには、ステータスを示すための 4 種類のアイコンが用意されています。

| | | |
|---|---|---|
| 1 | | 無停電電源装置 (UPS) と正常に通信しています。 |
| 2 | | 無停電電源装置 (UPS) と通信ができていません。 |
| 3 | | 無停電電源装置 (UPS) に入力電源異常が発生しました。 |
| 4 | | シャットダウンサービスが中断されています。 |

## ■アンインストール手順

| | |
|---|---|
| 1 | 本製品に同梱されている CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。 |
| 2 | デスクトップのインストール CD-ROM アイコンをダブルクリックして、CD-ROM ウィンドウを表示してください。 |
| 3 | [Shutdown_Agent] [Program]フォルダ内の[Mac] フォルダを開き、お使いの OS のフォルダ（[v10.3 Panther]、[v10.4 Tiger]）以下にある[Uninstall Shutdown Agent]アイコンをダブルクリックしてください。<br> <br>Uninstall Shutdown Agent |
| 4 | シャットダウンエージェントの削除の確認を求められます。[OK]をクリックしてください。<br>アンインストールを中止する場合は[キャンセル]をクリックします。 |
| 5 | 認証画面に管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックしてください。 |
| 6 | 「Shutdown Agent をアンインストールしました」と表示されます。[OK]をクリックしてください。 |

## 4.3 自動シャットダウンソフトと SC20G の通信確認方法

**インストールが完了した自動シャットダウンソフトが** SC20G **と正常に通信できているかどうかを、以下の手順で確認することが可能です。**

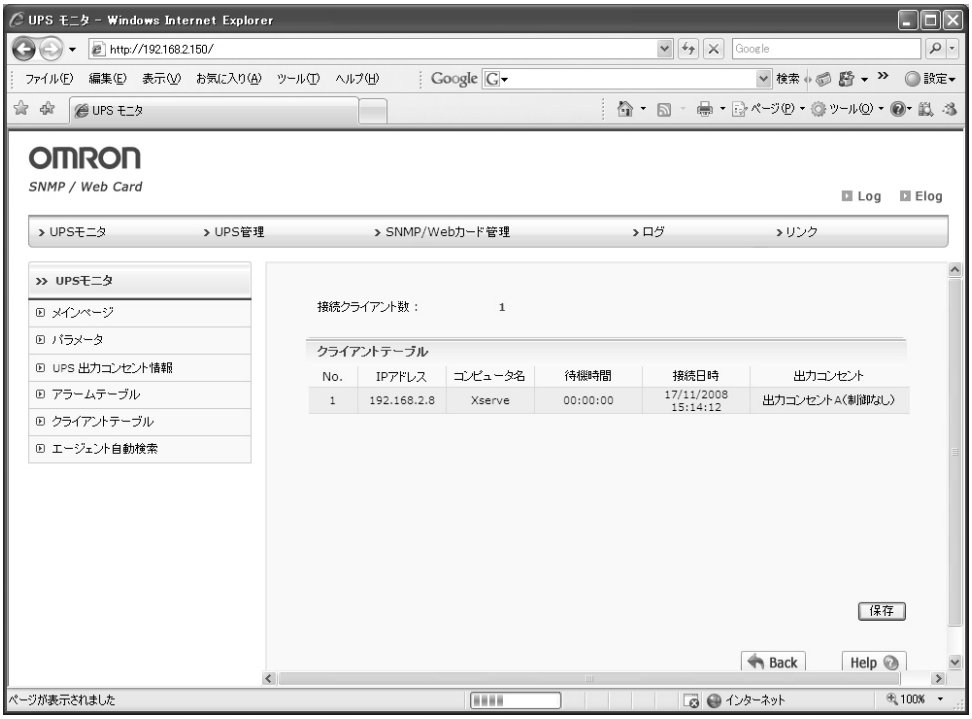
### ■確認手順

| | |
|---|---|
| **1** | SC20G **と同じネットワーク上にあるコンピュータの** Web **ブラウザを立ち上げ、「**http://**」に続いて、**SC20G **に割り当てられた** IP **アドレスをアドレスバーに入力し、**↵**を押してください。**<br>**入力例**)<br>IP **アドレスがデフォルト**(192.168.2.150)**の場合**<br> |
| **2** | SNMP/Web **カードの初期画面が表示されます。**<br> |

**3**

**左のメインメニューより、「クライアントテーブル」を選択して下さい。**

**右側のクライアントテーブル上の一覧に、自動シャットダウンソフトをインストールした各コンピュータの IP アドレスが表示されていれば、そのクライアントは正常に接続されています。**



- 最新の製品情報は当社ホームページ（http://www.omron.co.jp/ped-j/）をご覧ください。

**各会社名、各社製品名は各社の商標または登録商標です。**

**本取扱説明書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されております。**
**本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。**
©OMRON Corporaion 2009. All Rights Reserved

オムロン株式会社

K1L-D-08151C